

もんぜんぱら座敷地の利活用の検討 ～新田町交差点周辺のまちづくりへの提言～

資料編

1	もんぜんぱら座敷地の利活用の検討に係る要綱	……	1
2	もんぜんぱら座敷地利活用検討部会 委員名簿	……	3
3	もんぜんぱら座敷地利活用検討部会 開催の経過	……	4
4	もんぜんぱら座敷地利活用検討ワーキンググループ 委員名簿	……	5
5	もんぜんぱら座敷地利活用検討ワーキンググループ 開催の経過	……	5
6	もんぜんぱら座敷地利活用検討部会 資料	……	6

1 もんぜんぷら座敷地の利活用の検討に係る要綱

長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会もんぜんぷら座敷地利活用 検討部会要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例（平成27年長野市条例第3号。以下「条例」という。）第9条の規定に基づき、条例別表の1に規定する長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会（以下「評価専門委員会」という。）に条例第7条第1項の規定により同項に規定する部会等として置く長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会もんぜんぷら座敷地利活用検討部会（以下「部会」という。）の組織及び部会の委員その他部会に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2 この要綱において「もんぜんぷら座」とは、長野市もんぜんぷら座の設置及び管理に関する条例（平成15年長野市条例第23号）第1条に規定する長野市もんぜんぷら座をいう。

(任務)

第3 部会は、もんぜんぷら座の廃止後における次に掲げる事項を検討する。

- (1) もんぜんぷら座の施設の解体後の当該敷地の利活用に関すること。
- (2) もんぜんぷら座の有する既存の機能の取扱いに関すること。
- (3) 新田町交差点周辺のまちづくりに関すること。
- (4) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第4 部会は、部会の委員（以下「部会員」という。）15人以内で組織する。

2 部会員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 評価専門委員会の委員の職にある者
- (2) 学識経験者
- (3) 民間諸団体の代表者
- (4) 地域住民の代表者
- (5) 市長が必要と認める者

(任期)

第5 部会員の任期は、令和6年3月31日までとする。

2 第4第2項の規定は、補欠の部会員について準用する。

(部会長及び副部会長)

第6 条例第7条第2項において準用する条例第5条第1項に規定する会長等は、部会長とする。

2 前項の部会長を補佐するため、部会に副部会長を1人置き、部会員の互選によりこれを定める。

3 条例第7条第2項において準用する条例第5条第3項に規定するあらかじめ会長等の指名した委員は、前項の副部長とする。

(庶務)

第7 部会の庶務は、都市整備部まちづくり課が行う。

(補則)

第8 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、告示の日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、令和6年3月31日限り、その効力を失う。

2 もんぜんぱら座敷地利活用検討部会 委員名簿

(敬称略・順不同)

区分	氏名	役職等
学識経験者	◎柳沢 吉保	長野工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
	○石川 利江	ISHIKAWA 地域文化企画室 代表
	金澤 玲子	ハウジングスタイリスト
	川北 泰伸	清泉女学院大学 人間学部 文化学科 専任講師
	古後 理栄	(株)Ccobi 代表取締役
地域住民 の代表者	柄澤 洋一	第三地区住民自治協議会 副会長
	植木 修一	問御所町区 相談役
	横田 悦二郎	第四地区住民自治協議会 会長
	青木 茂	新田町区 区長
民間諸団体 の代表者等	塚田 まゆり	長野商工会議所 副会頭
	塚田 篤雄	長野商店会連合会 会長
	太田 耕一	長野銀座商店街振興組合 理事長
一般公募	篠原 さつき	
	鈴木 章子	
	吉田 喜美夫	

任期 令和4年11月24日～令和6年3月31日

◎部会長 ○副部会長

3 もんぜんぱら座敷地利活用検討部会 開催の経過

回数	開催日	協議内容等	出席委員
第1回	令和4年 12月23日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・もんぜんぱら座の現状とこれまでの検討経過について 【資料1・2】 ・部会の役割と進め方及びスケジュールについて 【資料3・4】 	14名
第2回	令和5年 7月4日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・新田町交差点周辺エリアに導入する機能の検討について 市民アンケート結果について 【資料1～3】 ワーキンググループの検討結果について 【資料4】 	12名
第3回	令和5年 11月20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・導入機能の配置の検討について ・もんぜんぱら座敷地の利活用の検討について 【資料1～3】 【参考資料1～3】 	11名
第4回	令和6年 2月5日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・答申素案について 【資料1・2】 	11名
第5回	令和6年 3月14日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・評価専門委員会への報告案について 【資料1・2】 	13名

4 もんぜんぷら座敷地利活用検討ワーキンググループ 委員名簿

(敬称略・順不同)

区分	氏名
学識経験者	金澤 玲子
地域住民の代表者	柄澤 洋一
	植木 修一
	横田 悦二郎
	青木 茂
民間諸団体の代表者等	太田 耕一

5 もんぜんぷら座敷地利活用検討ワーキンググループ 開催の経過

回数	開催日	協議内容等	構成委員
第1回	令和5年 1月30日(月)	・新田町交差点周辺に残すべき機能について	構成委員 6名 参加委員 1名 計 7名
第2回	令和5年 2月21日(火)	・新田町交差点周辺に残すべき機能について	構成委員 5名 参加委員 4名 計 9名
第3回	令和5年 6月20日(火)	・新田町交差点周辺エリアに導入する機能について	構成委員 4名 参加委員 2名 計 6名
第4回	令和5年 11月 7日(火)	・導入機能の配置について ・もんぜんぷら座敷地の利活用について	構成委員 4名 参加委員 1名 計 5名

6 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会 資料

第1回 検討部会 令和4年12月23日	7
資料1 もんぜんぷら座の現状及び検討経過について	
資料2 もんぜんぷら座館内施設一覧	
資料3 検討部会の役割と検討の進め方及びスケジュールについて	
資料4 諮問書（写し）	
第2回 検討部会 令和5年7月4日	16
資料1 もんぜんぷら座周辺のまちづくりに関するアンケート結果	
資料2 もんぜんぷら座利用者アンケート結果	
資料3 学生アンケート結果	
資料4 もんぜんぷら座敷地利活用検討に関するワーキンググループの検討結果について	
第3回 検討部会 令和5年11月20日	31
資料1 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会の検討経過	
資料2 新田町交差点周辺のまちづくり 機能配置の検討（既存機能の移転先）	
資料3 新田町交差点周辺のまちづくり 機能配置の検討（機能配置の素案）	
参考資料1 新田町交差点周辺の既存施設の利用状況	
参考資料2 文化施設を核とした複合施設の事例	
参考資料3 民間活力を活用した官民連携のまちづくりの事例	
第4回 検討部会 令和6年2月5日	38
資料1 もんぜんぷら座敷地の利活用検討（答申素案）	
資料2 新田町交差点周辺のまちづくり 提言の概要	
第5回 検討部会 令和6年3月14日	41
資料1 新田町交差点周辺のまちづくりへの提言 概要（案）	
資料2 もんぜんぷら座敷地の利活用の検討（答申案）	

第 1 回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会

日 時 令和4年12月23日(金)

場 所 長野市役所第二庁舎10階 講堂

協議内容 ・もんぜんぷら座の現状とこれまでの検討経過について

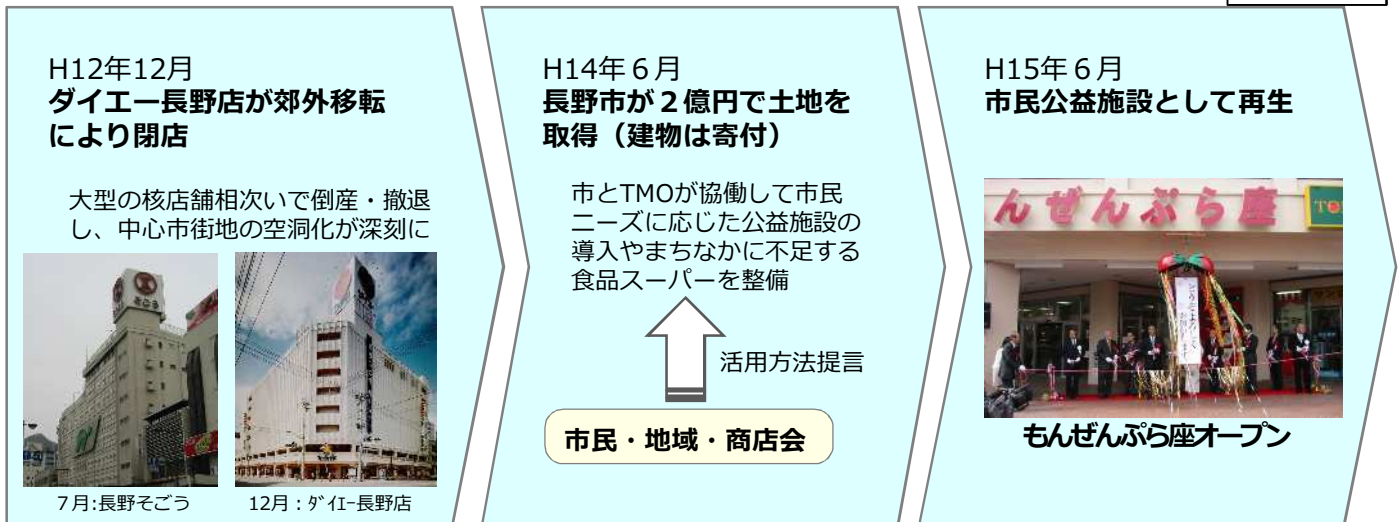
【資料1・2】

・部会の役割と進め方及びスケジュールについて

【資料3・4】

◆もんぜんぷら座設置までの経過

資料1



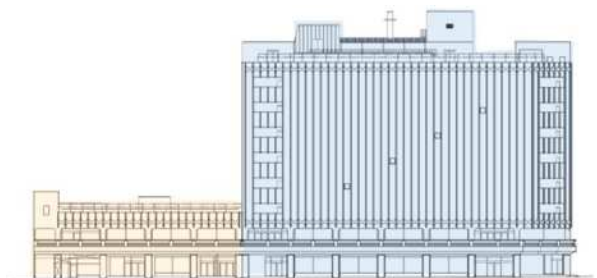
◆施設の概要

【敷地】

敷地面積 3,936.26㎡ (公簿)
《内訳》市有地 2,705.40㎡
民有地 1,230.86㎡ (借地)

【建物】

昭和51年竣工(築46年)
SRC造 高層棟 地上9階+塔屋1階、地下1階
低層棟 地上2階、地下1階
延床面積 23941.12㎡



【入居施設】

	低層棟	高層棟
8階		NTT東日本サービス、企画課統計担当、会議室
7階		NTT東日本サービス、会議室
6階		NTT東日本サービス、市北部障害者相談支援センター、会議室
5階		NTT東日本サービス、学習コーナー
4階		ながの観光コンベンションビューロー 市職業相談室、ハローワーク長野、ジョブカフェ信州 法テラス長野、市消費生活センター
3階		国際交流コーナー、長野県多文化共生相談センター 市民協働サポートセンター、シニアアクティブルーム もんぜんぷら座事務局、スクランブル広場、市民ギャラリー、会議室
2階	休憩コーナー	こども広場じゃん・けん・ぽん、長野市ファミリーサポートセンター、ミニギャラリー
1階	FMぜんこうじ、市ガイド協会、洋服リフォーム店	TOMATO食品館、のんびり屋ララ サンロク万年筆専門店、公衆トイレ、喫煙所
地階	ぷら座BOX	ぷら座ホール

◆利用状況



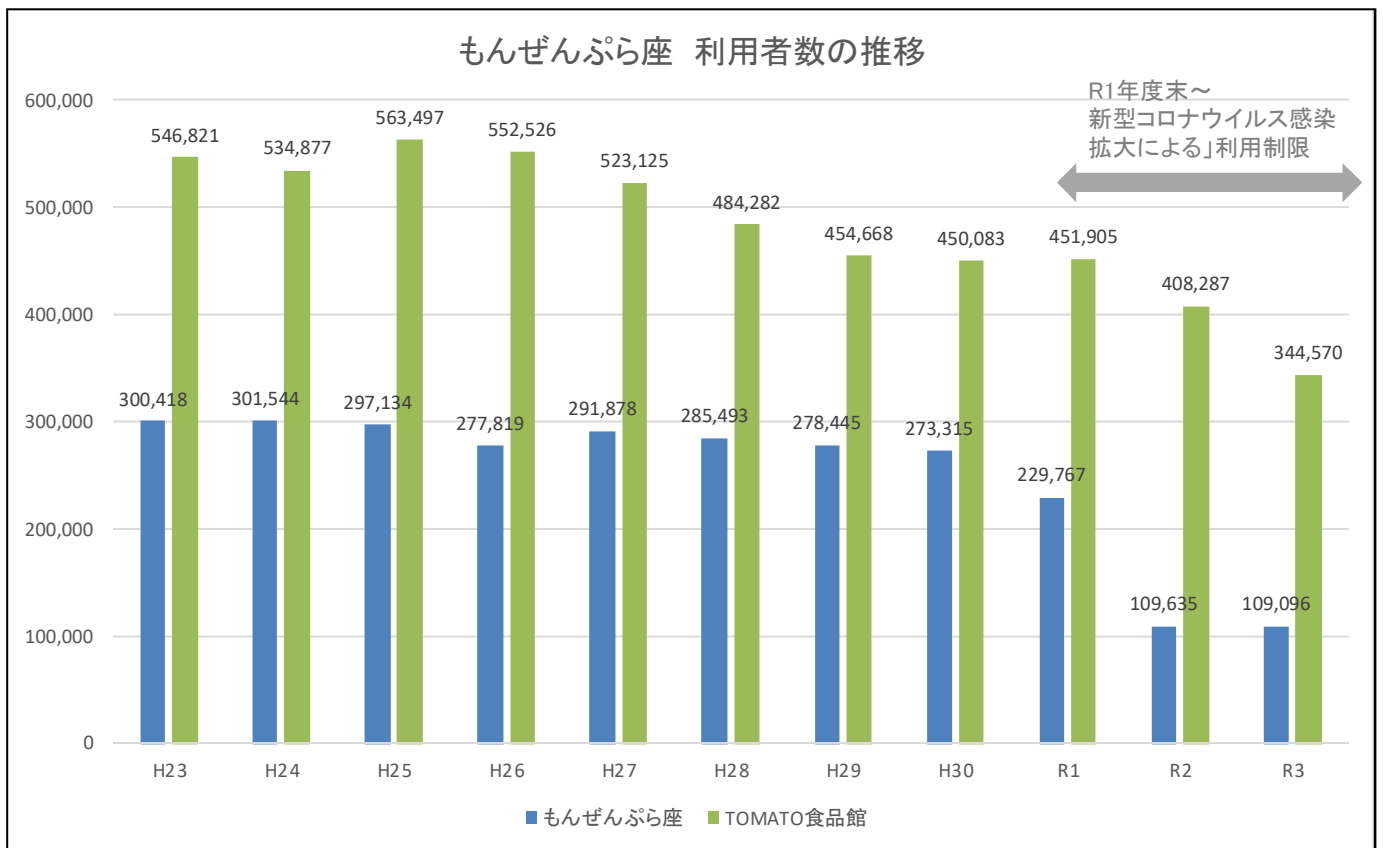
子育て支援施設
「じゃん・けん・ぽん」



食品スーパー
「TOMATO食品館」



自主企画イベント
「フェスタもんぷら」



◆施設の老朽化

機械設備や電気設備など施設の老朽化が著しい



躯体の劣化に伴う雨漏り



給排水管からの漏水



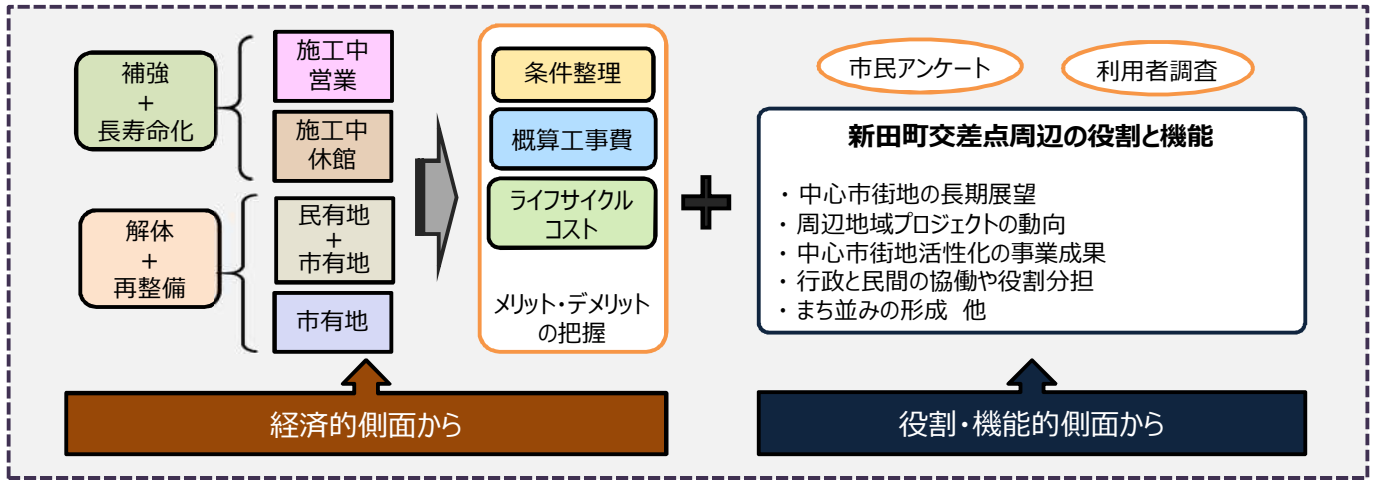
電気設備の老朽化・残置



撤去困難な機械設備

◆もんぜんぷら座に関する検討経過

中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 もんぜんぷら座の在り方検討部会（平成29年度）



答申

【対応スキーム】

【当面の課題】

- ・耐震性の確保
- ・必要な防災設備の更新

【長期的な課題】

新田町交差点周辺の総合的なまちづくり構想の策定等に向けた検討

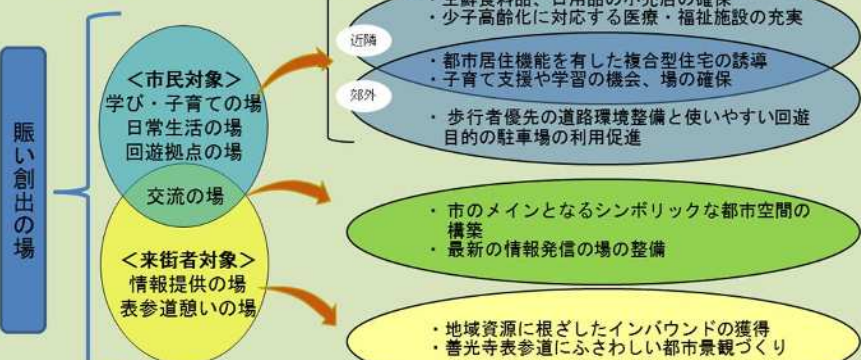
【新田町交差点周辺まちづくり テーマとコンセプト】

《テーマ》 まちパレット ～地域を結び、特色(いろ)を複(かさ)ねて際立たせ、賑い再生～



- 中心市街地の特色あるエリアを分断することなく、相乗効果が期待できるよう、結びつけるまちづくりを行う。交通の結節点としてだけではなく、門前町としての歴史と現代の文化をミックスさせる結節点とする。
- 資源を有効に活用し、持続可能な発展をめざす。その中で市民ニーズが高く、中心市街地に必要な都市機能を導入する。
- 将来のさらなる少子高齢化に対応し、「歩いて暮らせるまちづくり」の実現に向け、回遊性を高め中心市街地に賑いを再生する。
- 限られた土地を有効に活用するため、敷地個々の目線ではなく地域一体で役割を考え、都市の再生を検討する。
- 市民だけでなく来街者からの目線も含めた、常に変わっていくニーズにフレキシブルに対応できるまちづくりを目指す。

《コンセプト》



◆ 答申への対応

中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 もんぜんぷら座の在り方検討部会（平成29年度）

【当面の課題】

- ・耐震性の確保
- ・必要な防災設備の更新

【長期的な課題】

新田町交差点周辺の総合的なまちづくり構想の策定等に向けた検討

耐震改修工事（R3年4月完了）

耐震補強工事から概ね10年を目安に建物を解体

長野中央西地区市街地総合再生基本計画（令和4年2月策定）

【新田町交差点エリアの位置付け】

長野駅と善光寺の中間地点に位置し、これらの核をつなぐ拠点形成が求められている。

都市の将来像

新田町交差点エリア

“市民活動と情報発信により
中心市街地の結節点となる地域”



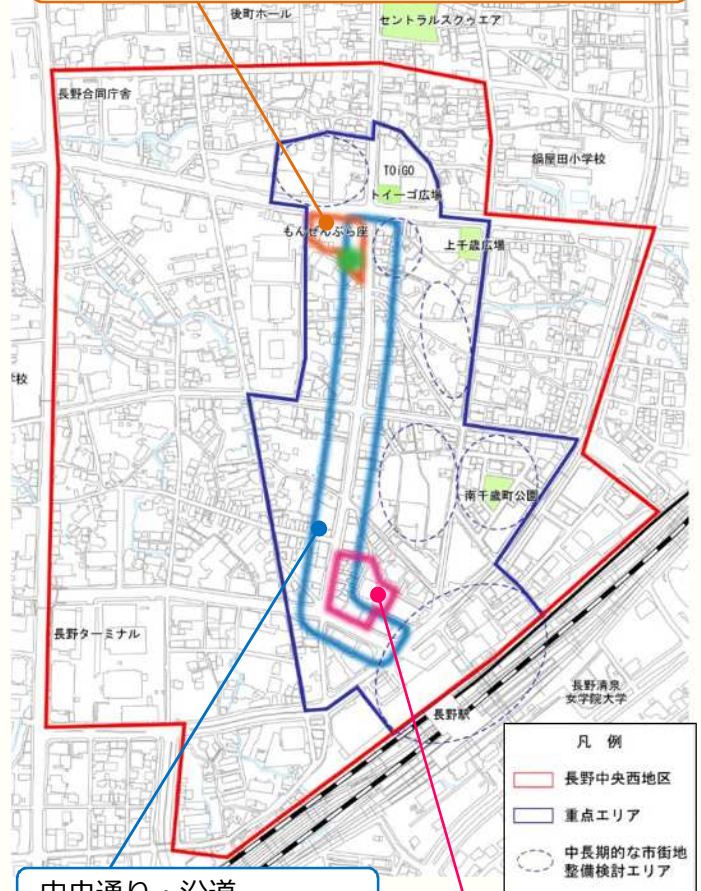
- 城山エリア**
文化・芸術に触れ、憩いと交流を育む地域
- 善光寺門前エリア**
門前町長野の歴史的・文化的魅力を発信する地域
- 権堂エリア**
商業機能とサービルの提供し、住みやすさを支える地域
- 官庁・業務集積エリア**
行政、経済など様々なサービスを提供する地域
- 長野駅周辺エリア**
多様な都市機能の集積により魅力とにぎわいを生み出すまちの玄関口
- まちなか交流エリア**
人々の生活を支え、新たな価値を生み出す地域

【重点プロジェクト】

新田町交差点周辺エリア

■ 南西街区 もんぜんぷら座敷地利活用推進

敷地面積：約0.4ha
想定する導入機能：文化、交流支援、オープンスペース等
推進主体：市・民間

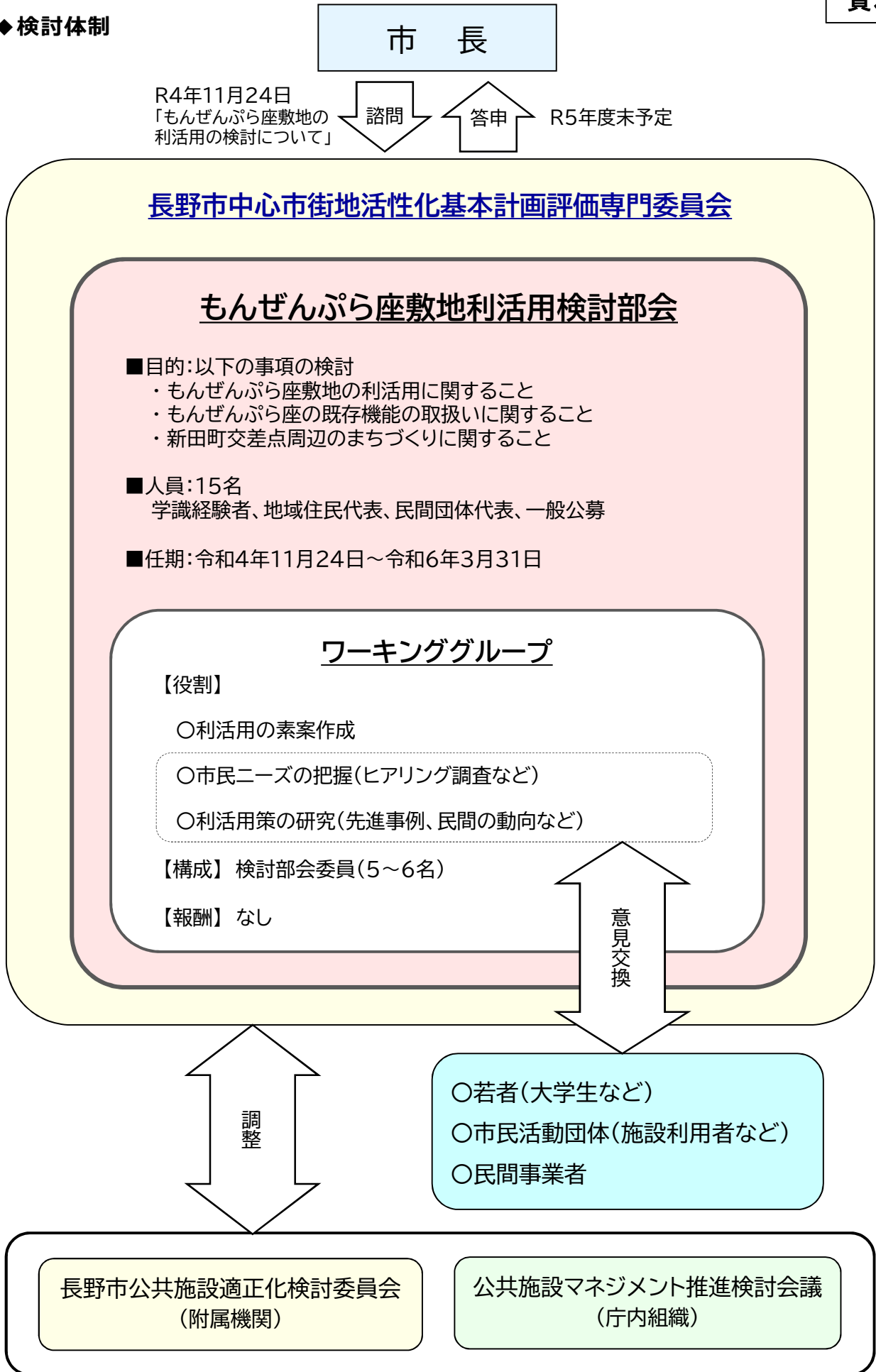


中央通り・沿道
■ 中央通りウォークアブル推進事業

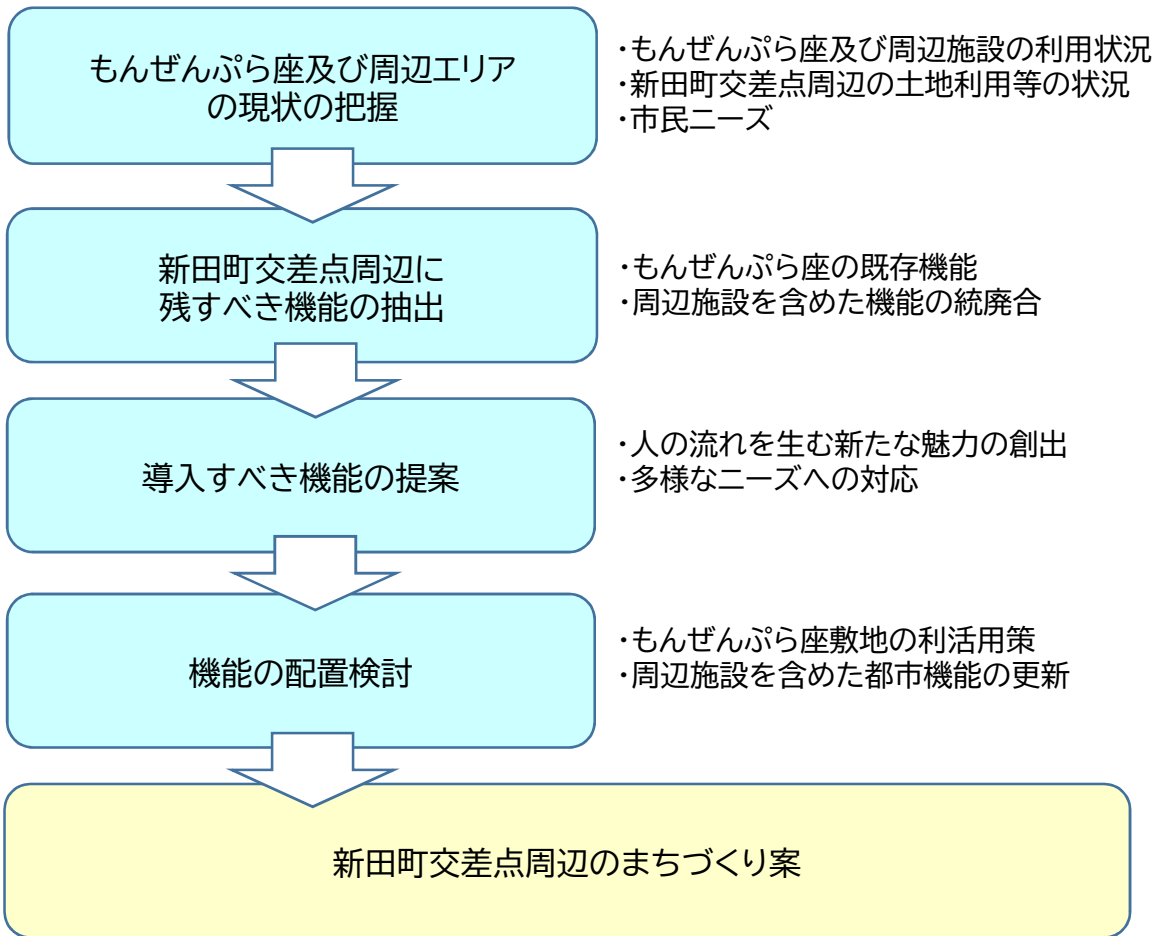
長野駅周辺エリア
■ (仮称)長野駅前B-1地区市街地開発事業

種別	階	入居施設名	設置者	運営者	業務内容・使用用途
公共施設	8	長野市企画課 統計担当	長野市企画課	同左	企画課統計業務
	6	長野市北部障害者相談支援センター	長野市障害福祉課	社会福祉法人信濃の星 他	障がい者対象の相談業務
	4	長野市消費生活センター	長野市市民窓口課	同左	消費生活に関する相談業務
	4	日本司法支援センター「法テラス長野」	日本司法支援センター	同左	総合法律支援業務
	4	長野市職業相談室 (長野シニアおしごとサポートセンター含む)	長野市雇用促進室	同左	職業相談業務
	4	ハローワーク長野 マザーズコーナー	長野労働局	同左	職業相談業務
	4	ハローワークプラザ長野 (マザーズコーナーに併設)			
	4	長野新卒応援ハローワーク 学生就職支援室			
	4	ジョブカフェ信州 長野分室	長野県若年者就業サポートセンター	同左	職業相談業務
	3	国際交流コーナー	長野市インバウンド国際室	同左	外国籍住民等の相談業務、国際交流活動の拠点 外国人のための日本語教室
	3	長野県多文化共生相談センター (国際交流コーナー内)	(公財)長野県国際化協会	同左	外国籍住民等の相談業務(主に電話相談)
	3	市民協働サポートセンター「まんまる」	長野市地域活動支援課	長野県NPOセンター	公益的活動を行う市民、団体等の協働の機会と交流の場の提供 公益的活動に係る情報提供及び相談
	3	シニアアクティブルーム	長野市高齢者活躍支援課	長野県高齢者生活協同組合	シニア向け講座やイベント等の開催窓口
	2	こども広場 じゃん・けん・ぼん (長野市ファミリーサポートセンター含む)	長野市保育・幼稚園課	NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト	子育て親子の交流に関する事業、子育てに関する相談・情報の提供 遊びに関する指導及び助言 など 乳幼児から思春期の子どもと保護者が気軽に通い「相談や交流」「学習支援」「食事支援」が受けられる「一場所多機能」な居場所
	1	子どもの居場所 ながのこどもわくわくカフェ	長野市地域活動支援課		
	1	喫煙所	長野市環境保全温暖化対策室	同左	喫煙スペース
	3	もんぜんぷら座事務局	長野市まちづくり課	同左	もんぜんぷら座の管理運営業務
	3,6,7,8	会議室			貸館業務(会議室)
5	学習コーナー	学生等の自習スペース			
2,3	市民ギャラリー、ミニギャラリー	貸館業務(ギャラリー)			
2,3	スクランブルひろば、休憩コーナー	フリースペース			
1	公衆トイレ	公衆トイレ			
B1	ぷら座ホール、ぷら座BOX	貸館業務(ホール、防音室)			
公益施設	4	(公財)ながの観光コンベンションビューロー	(公財)ながの観光コンベンションビューロー	同左	各種大会や会議等の誘致・支援及び観光宣伝業務
	1	(株)ながのコミュニティ放送「FMぜんこうじ」	(株)ながのコミュニティ放送	同左	ラジオ放送事業
	1	長野市ガイド協会	長野市ガイド協会	同左	観光ボランティアガイドの受付、派遣業務
	1	障害者施設生産品販売コーナー「のんびり屋らら」	長野市障害福祉課	NPO法人さくら会 他	障害者施設生産品の販売
民間施設	5,6,7,8	(株)NTT東日本サービス	同左	同左	コールセンター業務
	1	サンロク万年筆専門店	サンロク万年筆専門店	同左	物品販売(主に万年筆・印鑑・記章類)
	1	洋服再生館リフォーム	洋服再生館リフォーム	同左	洋品リフォームサービス業
	1	TOMATO食品	長野商工会議所	(株)まちづくり長野	食料品、日用雑貨、生活関連品等の販売

◆ 検討体制



◆ 検討のながれ（案）



◆ 検討スケジュール（予定）

年度	R2	R3	R4年度				R5年度				R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17		
			4	7	10	1	4	7	10	1														
もんぜんぷら座		○ 耐震改修工事完了																						
			→ 維持修繕しながら使用(概ね10年間)																					
						● 諮問																		
						→ 利活用策検討(検討部会)																		
その他																								

● 現在

● 市民意向調査

● 答申

→ 建物解体等

→ 敷地利活用

→ 既存機能移転等

→ ワーキング検討



4まち第236号
令和4年11月24日

長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会

委員長 竜野 泰一 様

長野市長 荻原 健司



もんぜんぷら座敷地の利活用の検討について（諮問）

このことについて、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例に基づき、次のとおり貴委員会の意見を求めます。

諮問の趣旨

もんぜんぷら座の在り方の検討については、平成30年5月24日付けで貴委員会から「当面の課題」及び「長期的な課題」への対応を求める答申をいただきました。

「当面の課題」については、耐震補強を完了するとともに必要な防災設備の更新をしつつ利用者の安全を確保しています。

また、「長期的な課題」については、長野中央西地区市街地総合再生基本計画を策定し、新田町交差点周辺エリアの将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」とし重点プロジェクトの一つに「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を位置づけました。

については、中心市街地の結節点として、民間活力導入の可能性も含め、もんぜんぷら座解体後の建物敷地の利活用及び当該施設の有する既存機能の取り扱い、また、新田町交差点周辺のまちづくりについて、意見を求めるものです。

第 2 回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会

日 時 令和5年7月4日(火)

場 所 長野市ふれあい福祉センター5階ホール

協議内容 ・新田町交差点周辺エリアに導入する機能の検討について
市民アンケート結果について 【資料1～3】
ワーキンググループの検討結果について 【資料4】

ここからは、もんぜんぶら座を含む新田町交差点周辺エリアについてお聞きします。
新田町交差点周辺エリアについて以下をご確認の上、次のページへお進みください。

長野駅周辺から新田町交差点周辺までの地区においては、老朽化した建物や有効活用されていない土地の増加などにより、にぎわいや活力の低下が問題となっています。

このため、長野市では、適切な都市機能の誘導による市街地環境の整備・改善など、将来に向けたまちづくりを官民連携で進めるガイドラインとして、「長野中央西地区市街地総合再生基本計画」を令和4年2月に策定しました。

◆新田町交差点周辺エリアの将来像

長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、新田町交差点周辺エリアの将来像を、「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点※となる地域」と位置づけ、「様々な市民活動や文化交流の拠点形成」などをまちづくりの方向性として定めています。

※用語解説「中心市街地の結節点」
中心市街地の拠点と拠点を結びつける役割を担う場所



2 ページのエリア図に点線で示した中心市街地との関わりについてお伺いします。
 ご回答は、当てはまる番号を右端の口の中に記入してください。
 なお、その他の場合は、内容を（ ）内に記載してください。

問5 あなたは過去1年間にどのくらい中心市街地を訪れましたか。最も近いものを選んでください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 数か月に1回程度 |
| 2. 週に1回以上 | 5. ほとんど行かない |
| 3. 月に1回以上 | |

問5

※4または5を選んだ方
 ⇒問8へ

問5で1～3と回答した方にお伺いします。

問6 中心市街地に訪れる際の主要な目的は次のうちどれですか。
 最も当てはまるものを3つ以内で選んで回答してください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 通勤・通学 | 9. 生活関連サービス
(理美容・通院・金融機関など) |
| 2. 買い物 | 10. 芸術鑑賞 |
| 3. 飲食 | 11. 観光 |
| 4. 娯楽(映画・カラオケなど) | 12. 散策(公園など) |
| 5. お祭りなどのイベント | 13. 行政サービス |
| 6. 会議や集会 | 14. その他() |
| 7. 趣味・習い事 | |
| 8. 自習・資料収集(図書館など) | |

問6

問7 中心市街地に訪れる際の主な交通手段は次のうちどれですか。

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 徒歩 | 5. タクシー |
| 2. 自転車 | 6. バス |
| 3. バイク | 7. 電車 |
| 4. 自家用車 | 8. その他() |

問7

⇒問9へ

問5で4または5と回答した方にお伺いします。

問8 訪れる回数が少ない理由は次のうちどれですか。
 最も当てはまるものを2つ以内で選んで回答してください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 自宅から遠い | 5. 行きたいイベントがない |
| 2. 行きたいお店や施設がない | 6. 公園等の憩いの場所が少ない |
| 3. 公共交通のアクセスが不便 | 7. その他() |
| 4. 駐車場や駐輪場が不便 | |

問8

⇒問9へ

2ページのエリア図に二重線で示した新田町交差点周辺エリアの今後のまちづくりについてお伺いします。ご回答は、当てはまる番号を右端の口の中に記入してください。なお、その他の場合は、内容を（ ）内に記載してください。

問9 市では、もんぜんぷら座の解体後、新田町交差点周辺エリアを下表の機能が集まる「様々な市民活動や文化交流の拠点」にしたいと考えています。
そこで、あなたがこのエリアに必要なだと思う機能を、下表の「具体的な機能の例」の中から3つ選んで回答してください。

機能	具体的な機能の例（以下から選択してください。）	問9
市民活動・交流支援	1. 幅広い世代の交流・市民活動のサポート 2. 会議室・多目的ホールなどの貸館 3. 広場などイベントにも活用できる屋外スペース	
文化	4. カフェなど居心地の良い空間を備えた図書館 5. 市民の創作品など芸術作品の展示スペース	
子育て支援	6. 子育て家庭の相談や交流のサポート 7. 雨の日でも子供が遊べる屋内遊戯スペース	
青少年育成・生涯学習支援	8. ネット環境が整い、落ち着いて学べる学習スペース 9. 講座や習い事など生涯学習の機会の提供 10. 音楽やダンスの練習などに使えるスタジオ	
観光・情報発信	11. 観光やイベントなど地域情報の提供 12. 長野の食や伝統文化を体験できる機会の提供	
商業	13. 飲食や物販などの商業サービスの提供	
その他	14. ()	

問10 新田町交差点周辺エリアの今後のまちづくりに関して、ご意見がありましたらご記入ください。

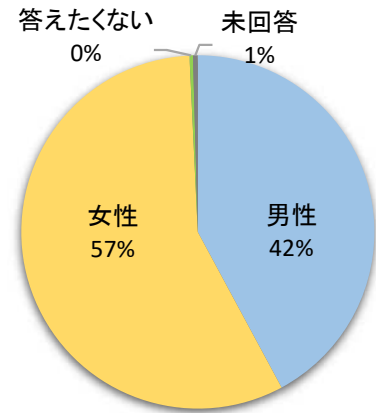
(自由記載)

ご協力ありがとうございました。

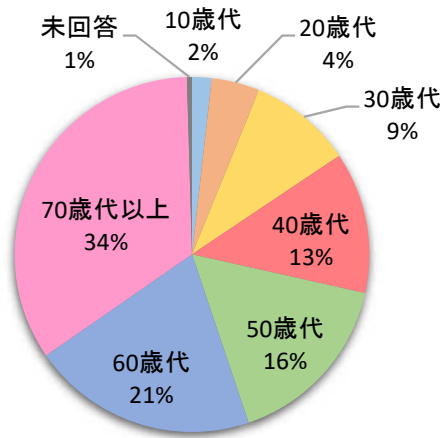
— 実施概要 —

送付数 2,000通
実施期間 令和5年4月26日
～ 5月10日
回答数 667通
回答率 33.4%

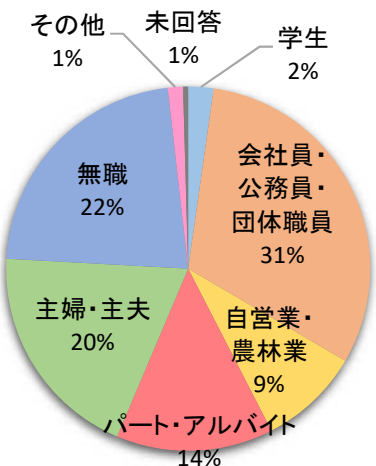
問1：性別



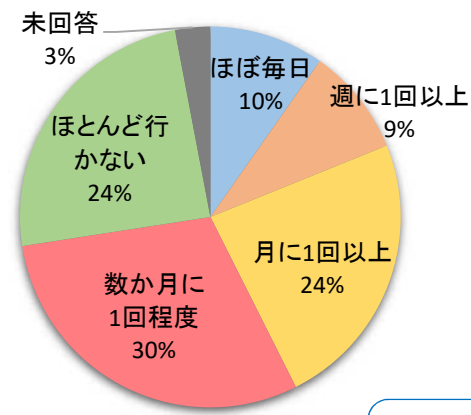
問2：年代



問3：職業



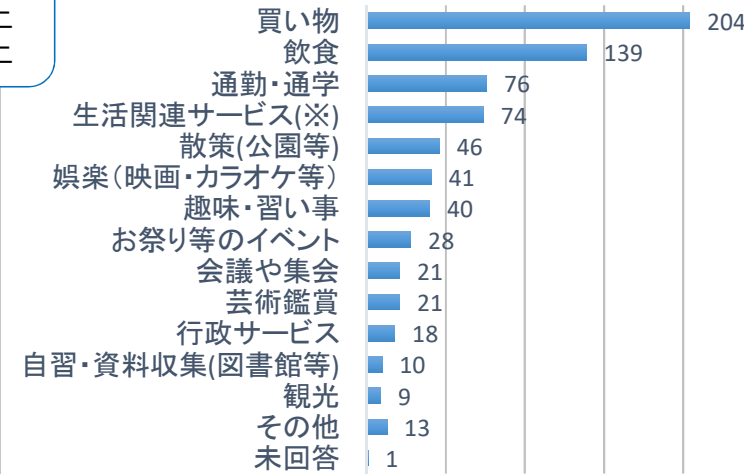
問5：中心市街地の利用頻度



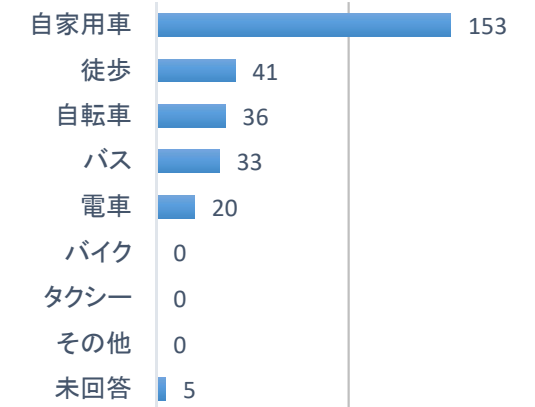
・ほぼ毎日
・週に1回以上
・月に1回以上

・数か月に1回程度
・ほとんど行かない

問6：中心市街地を訪れる主要な目的
複数回答(3つ以内)

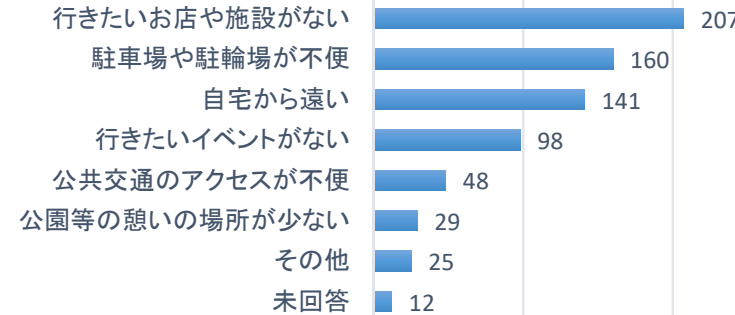


問7：中心市街地への交通手段

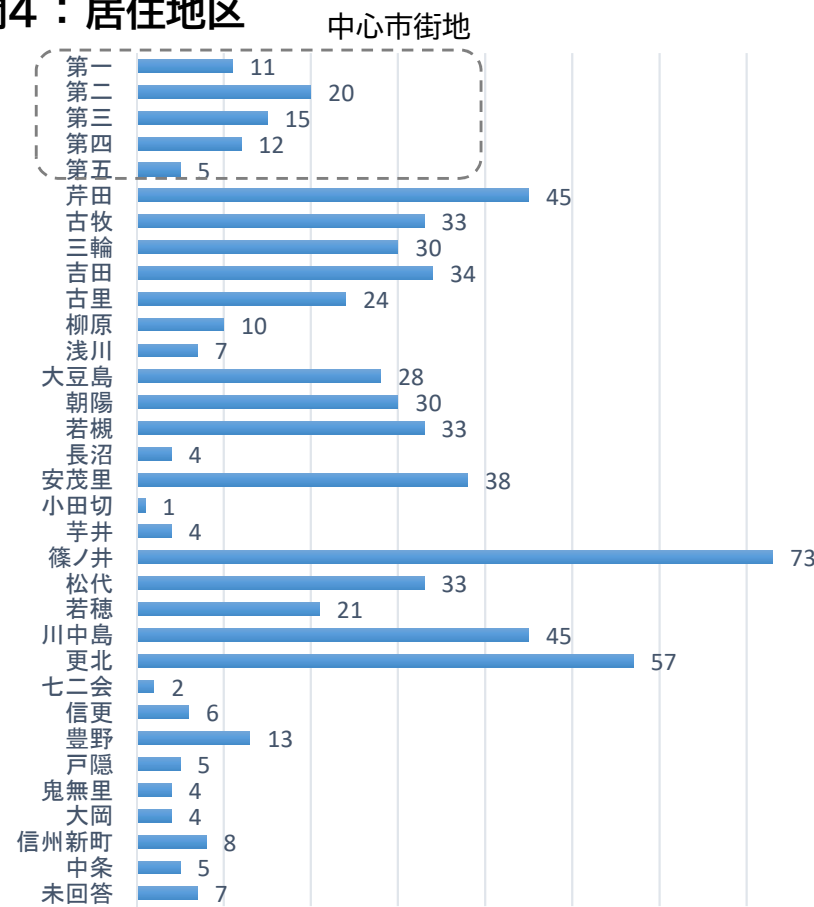


※ 理美容・通院・金融機関など

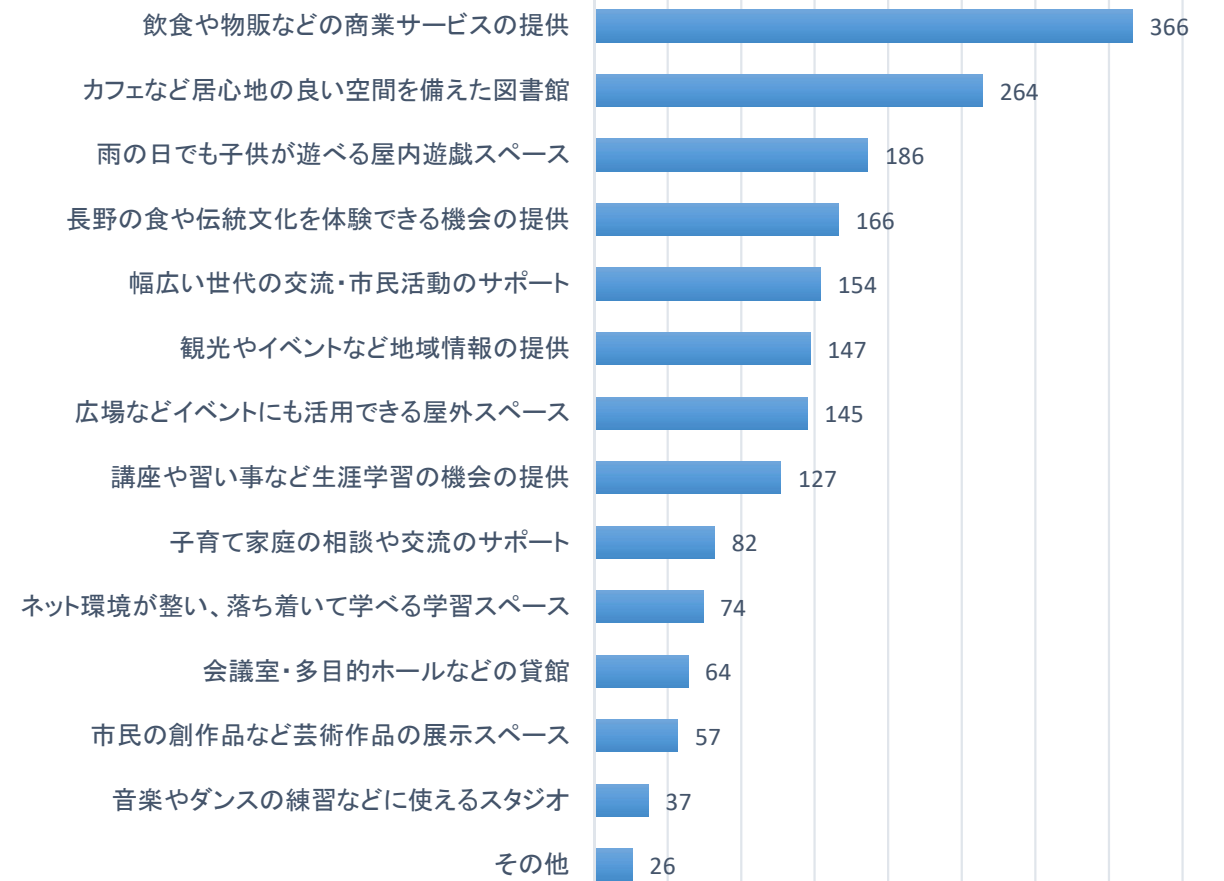
問8：訪れる回数が少ない理由
複数回答(2つ以内)



問4：居住地区



問9：新田町交差点周辺エリアに必要なと思う機能
複数回答(3つ)

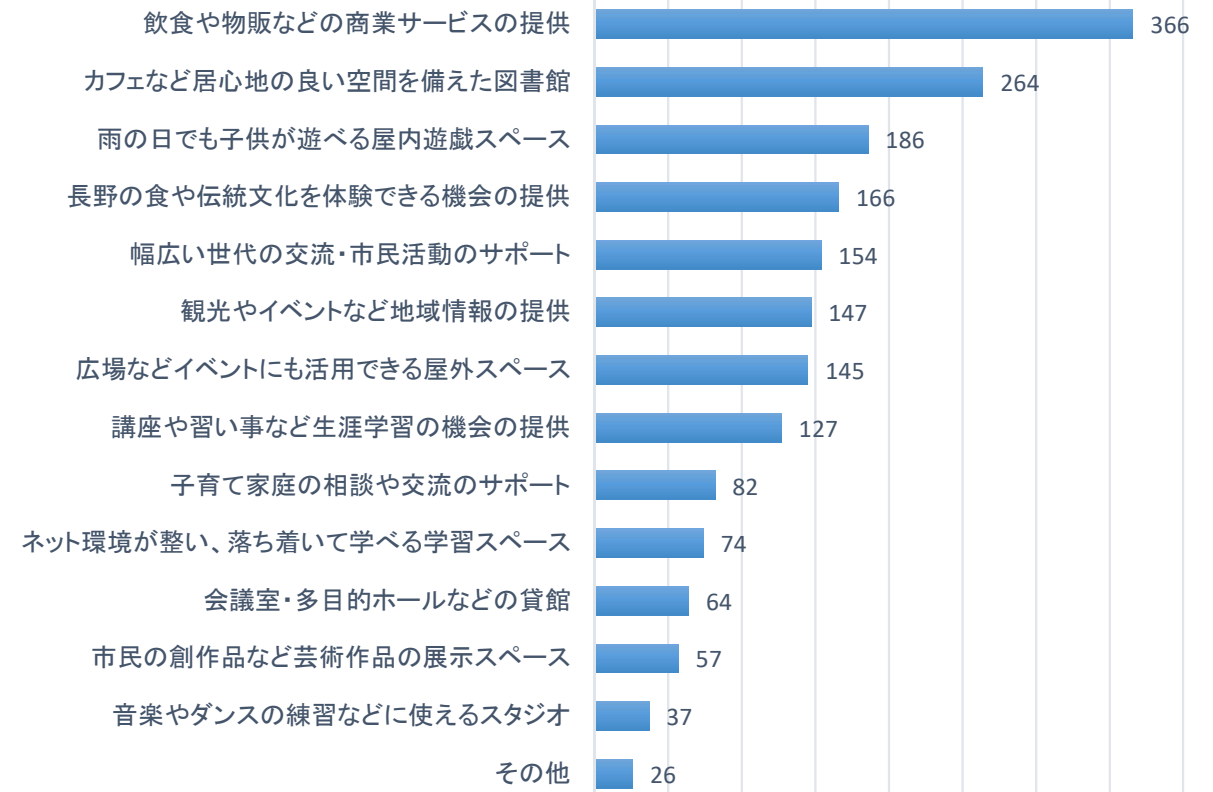
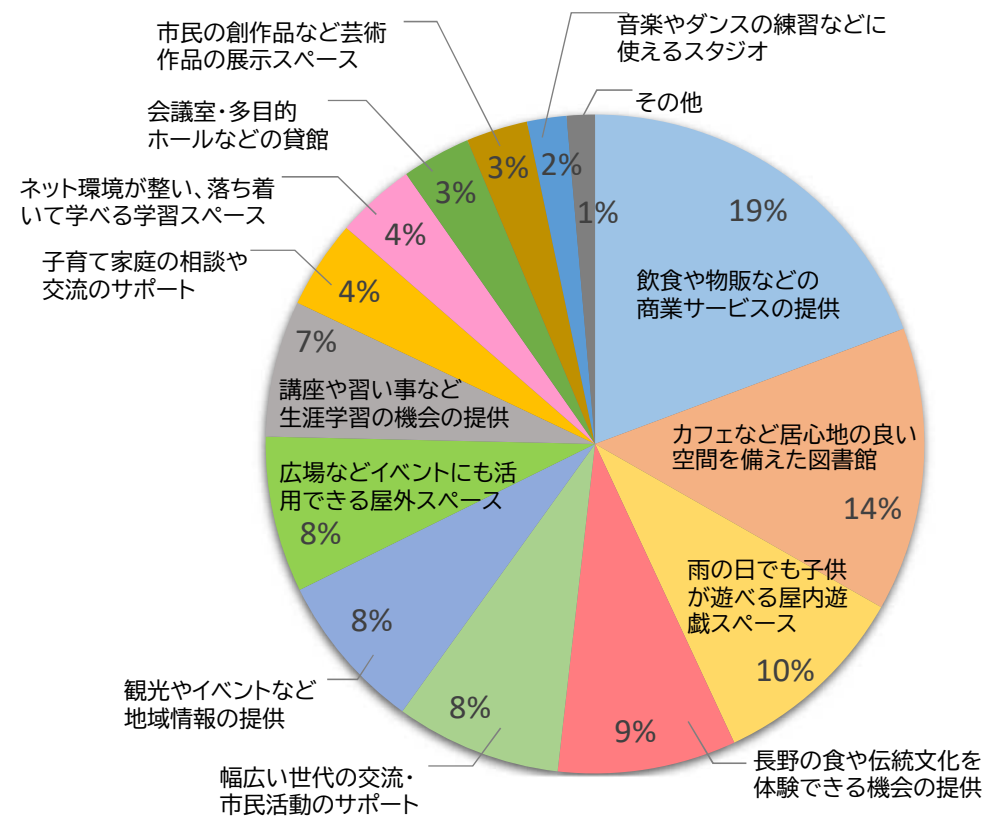


問10：新田町交差点周辺エリアの今後のまちづくりに関する自由意見

- 駐車場・駐輪場に関するもの（駐車場・駐輪場の設置や駐車料金） 72件
 - ショッピングモールや大型店、その他商業施設・飲食店に関するもの 40件
 - 子育て支援や子供の遊び場など 20件
 - 幅広い世代に交流に関するもの 16件
 - 図書館に関するもの 10件
- 全243件中 主な意見

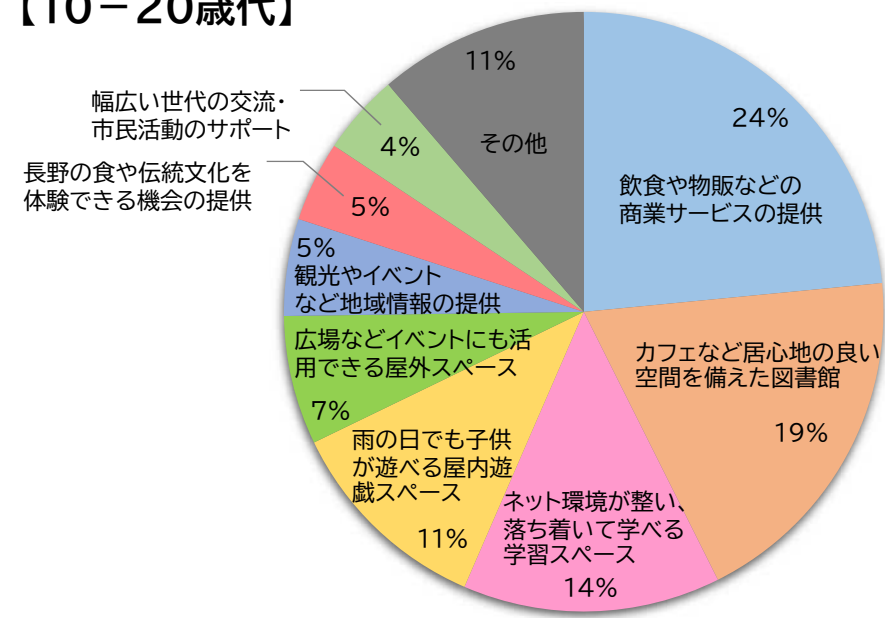
問9：新田町交差点周辺エリアに必要なと思う機能 複数回答(3つ)

全体

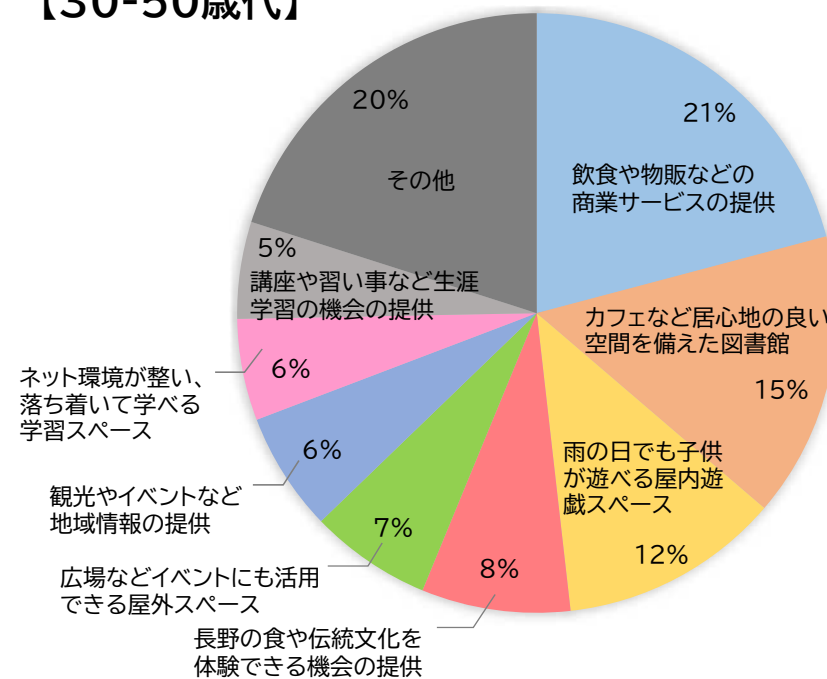


年代別

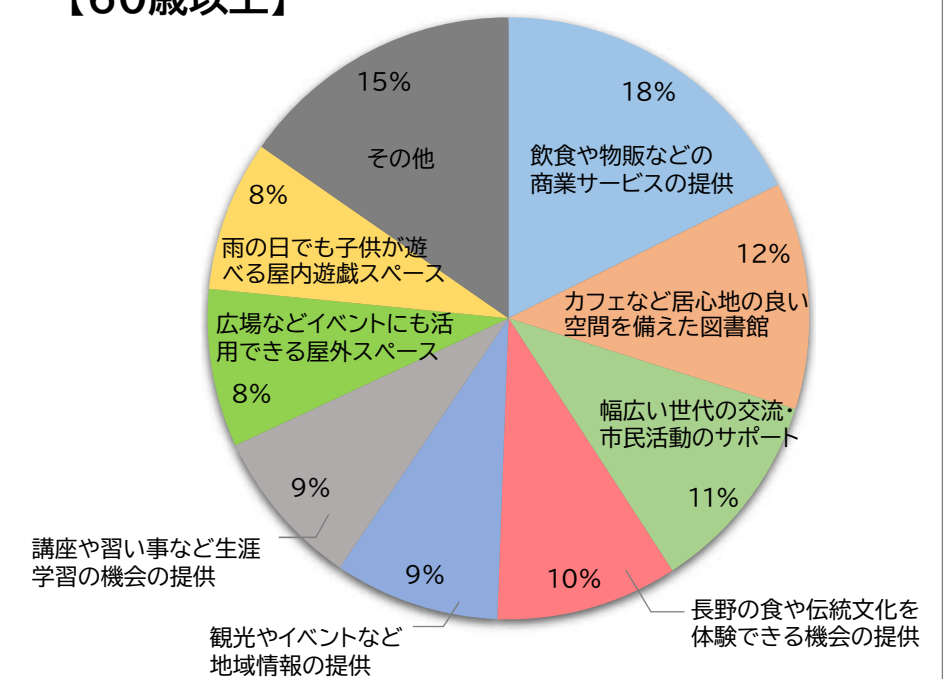
【10-20歳代】



【30-50歳代】



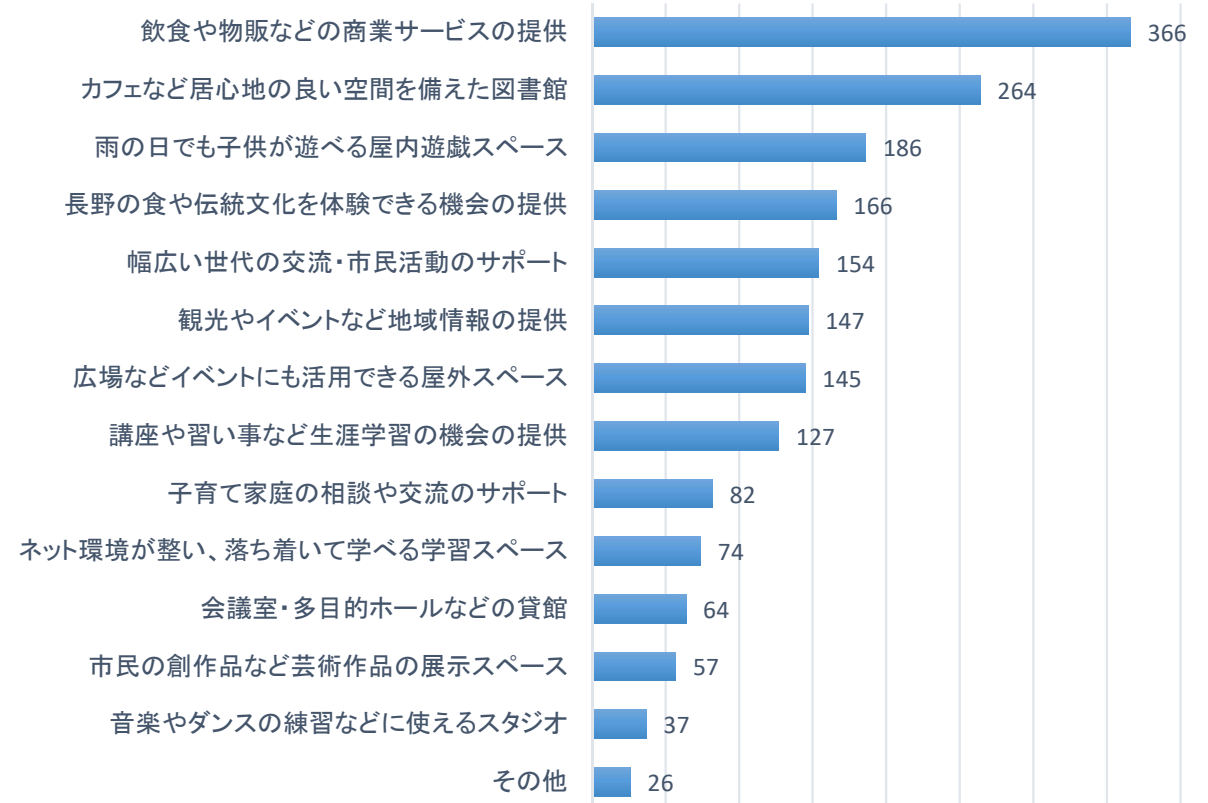
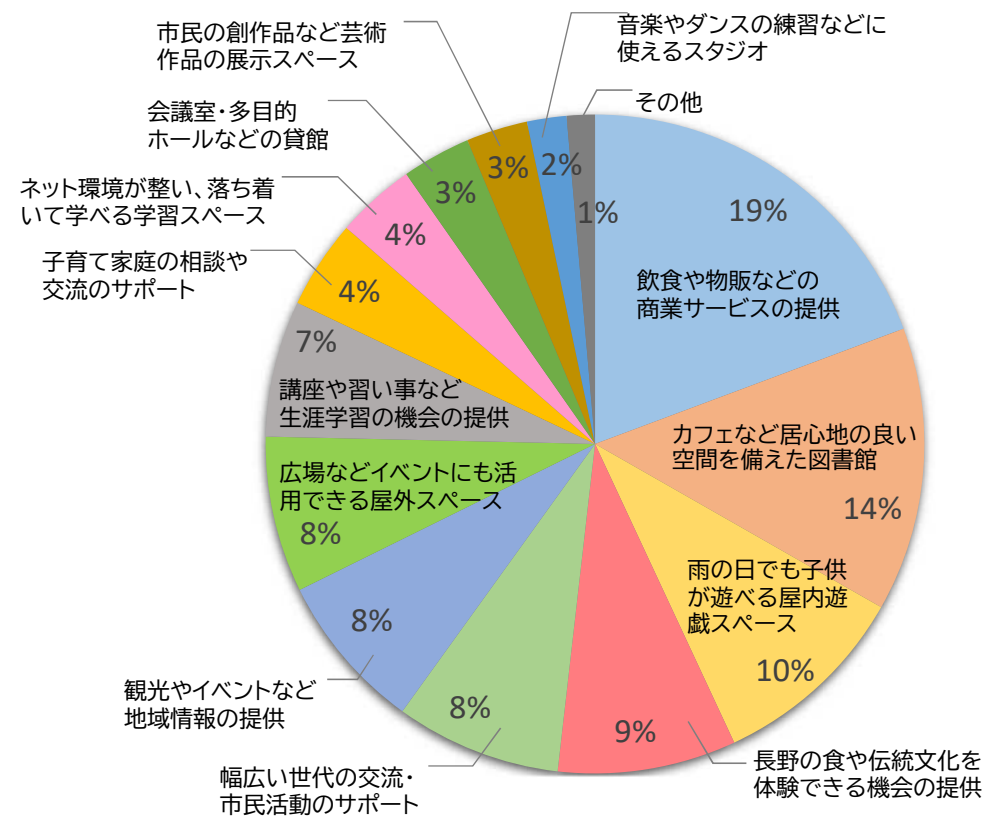
【60歳以上】



※円グラフには、上位8機能までを表示し、それ以外はその他に分類した。

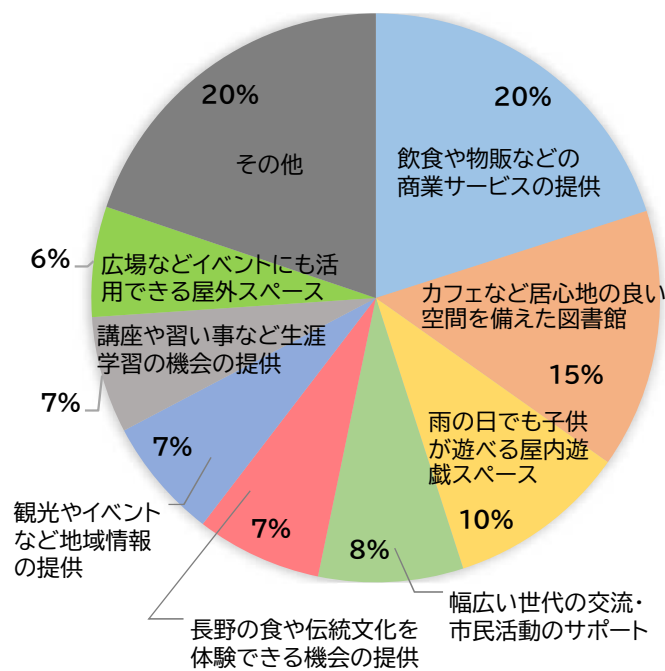
問9：新田町交差点周辺エリアに必要なと思う機能 複数回答(3つ)

全体

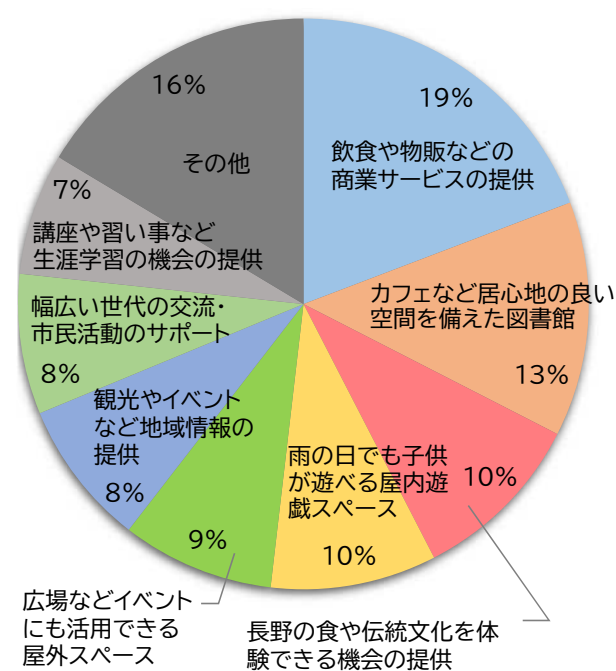


中心市街地への来街頻度別

【頻繁に来る】



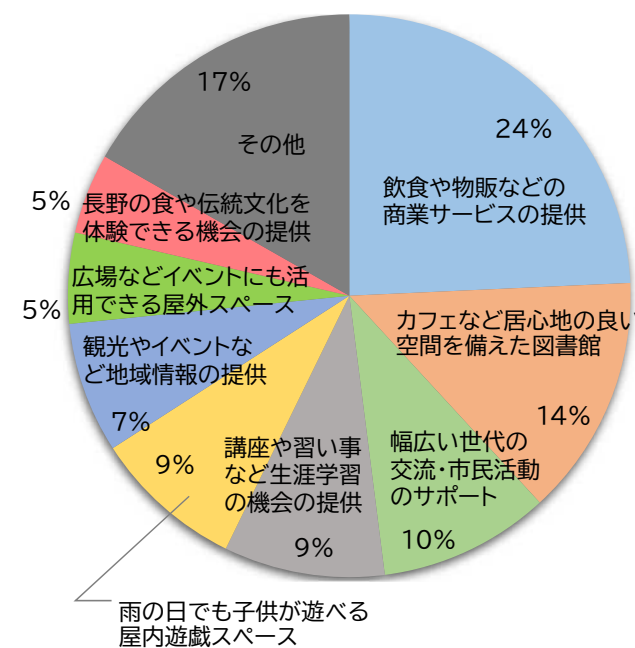
【ほとんど来ない】



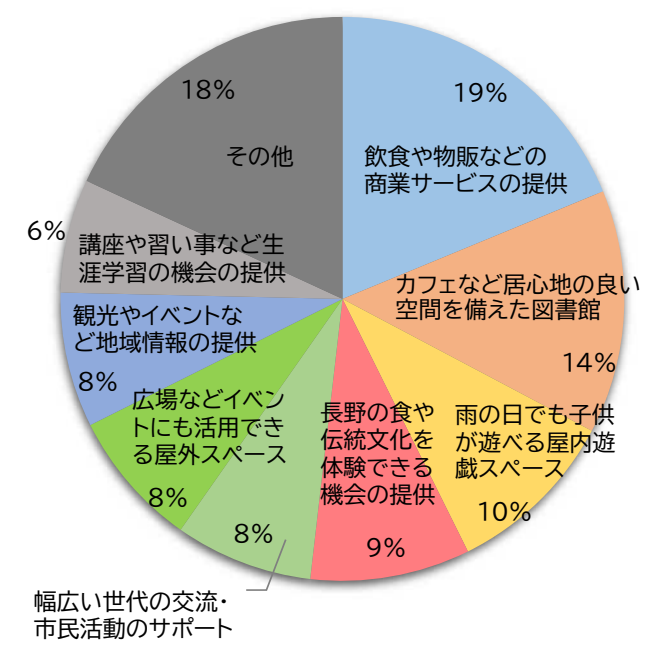
※円グラフには、上位8機能までを表示し、それ以外はその他に分類した。

居住地別

【中心市街地の住民】



【中心市街地の以外の住民】



※円グラフには、上位8機能までを表示し、それ以外はその他に分類した。

Q8 もんぜんぷら座であなたが主に利用する施設はどれですか。

Q8

- | | | |
|-------------------|-------------------|------------------------|
| 1. TOMATO 食品館 | 6. 法テラス | 11. 学習コーナー |
| 2. 子ども広場じゃん・けん・ぽん | 7. 消費生活センター | 12. ぷら座BOX・ぷら座ホール |
| 3. 市民協働サポートセンター | 8. 障がい者支援施設 | 13. フリースペース (スクランブル広場) |
| 4. 国際交流コーナー | 9. 観光コンベンションビューロー | 14. ギャラリー |
| 5. ハローワーク・職業相談 | 10. 会議室 | 15. その他 () |

Q9 Q8で選択した施設を利用する理由は何ですか。

Q9

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 交通の便が良い | 4. 目的に合う施設がここにしかない |
| 2. 利用料が安い | 5. その他 () |
| 3. 自宅や用事がある施設に近い | |

Q10 Q8で選択した施設について、もんぜんぷら座解体後は、どこに立地することが望ましいと思いますか。

Q10

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 現在の場所 | 3. 市役所周辺 | 5. 郊外 |
| 2. 長野駅周辺 | 4. 権堂周辺 | 6. その他 () |

Q11 市では、もんぜんぷら座の解体後、新田町交差点周辺エリアを下表の機能が集まる「多様な市民活動や文化交流の拠点」にしたいと考えています。そこで、あなたがこのエリアに必要なだと思う機能を、下表の「具体的な機能の例」の中から3つ選んで回答してください。

Q11

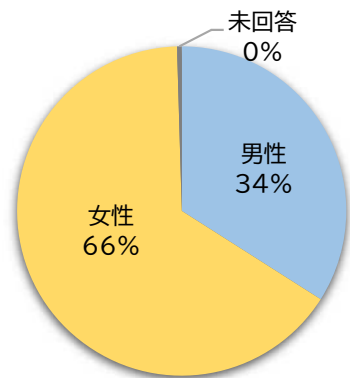
機能	具体的な機能の例 (以下から選択してください。)
市民活動・交流支援	1. 幅広い世代の交流・市民活動のサポート 2. 会議室・多目的ホールなどの貸館 3. 広場などイベントにも活用できる屋外スペース
文化	4. カフェなど居心地の良い空間を備えた図書館 5. 市民の創作品など芸術作品の展示スペース
子育て支援	6. 子育て家庭の相談や交流のサポート 7. 雨の日でも子供が遊べる屋内遊戯スペース
青少年育成・生涯学習支援	8. ネット環境が整い、落ち着いて学べる学習スペース 9. 講座や習い事など生涯学習の機会の提供 10. 音楽やダンスの練習などに使えるスタジオ
観光・情報発信	11. 観光やイベントなど地域情報の提供 12. 長野の食や伝統文化を体験できる機会の提供
商業	13. 飲食や物販などの商業サービスの提供
その他	14. ()

ご協力ありがとうございました。

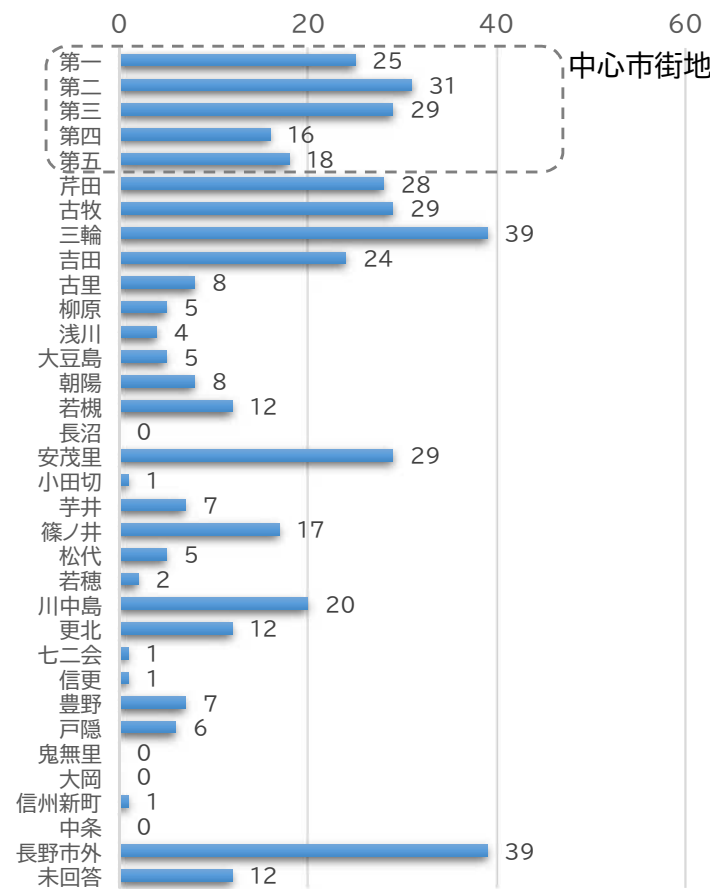
— 実施概要 —

実施期間 令和5年5月19日
～ 5月26日
回答数 441通

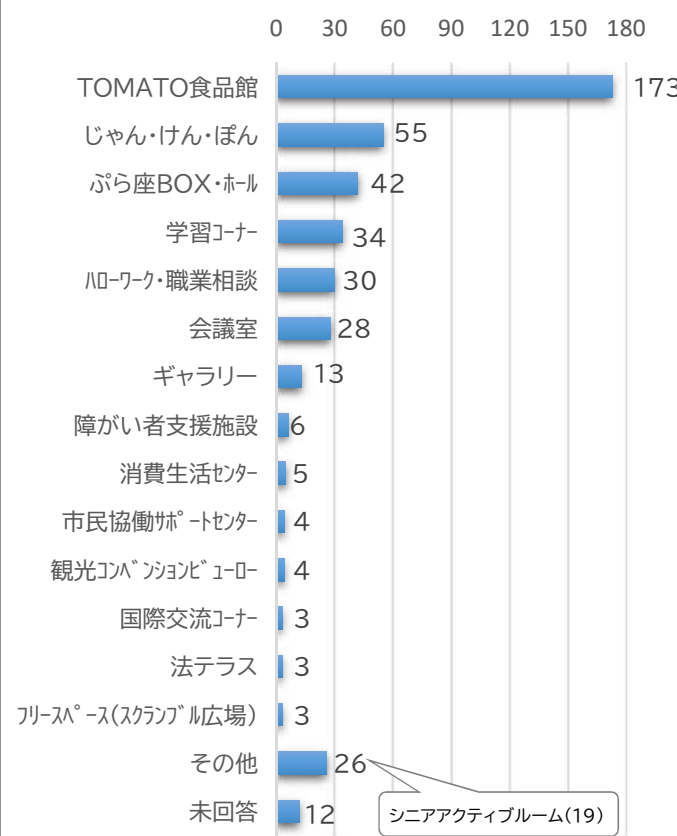
問1：性別



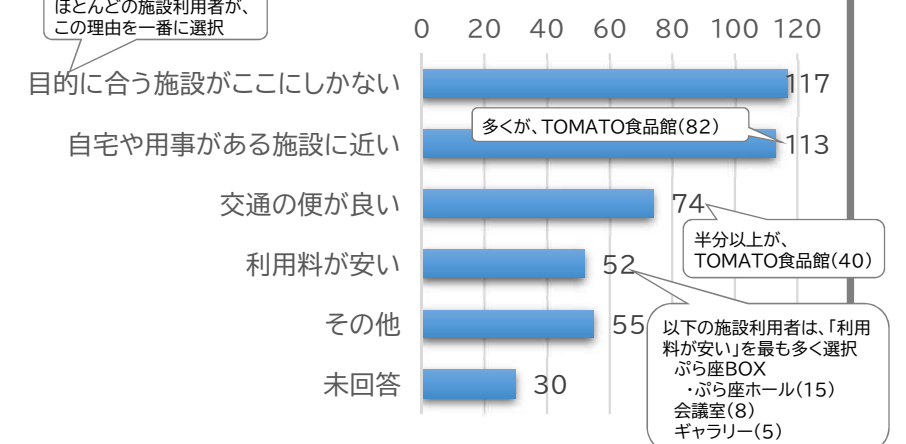
問4：居住地区



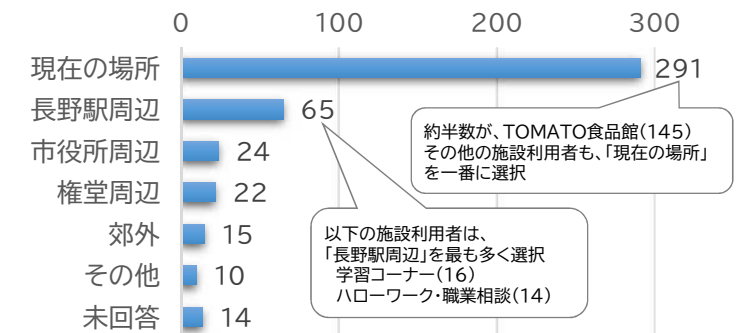
問8：主な利用施設



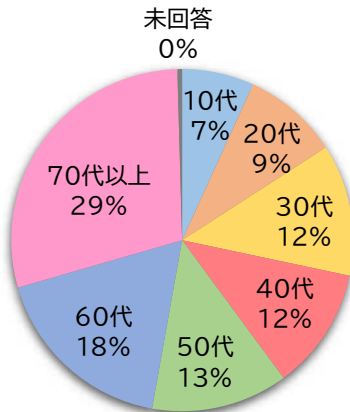
問9：問8の施設を利用する理由



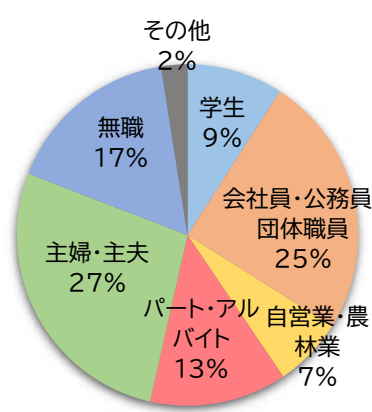
問10：解体後、問8の施設の希望立地



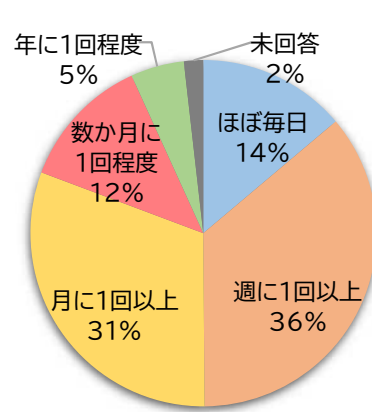
問2：年代



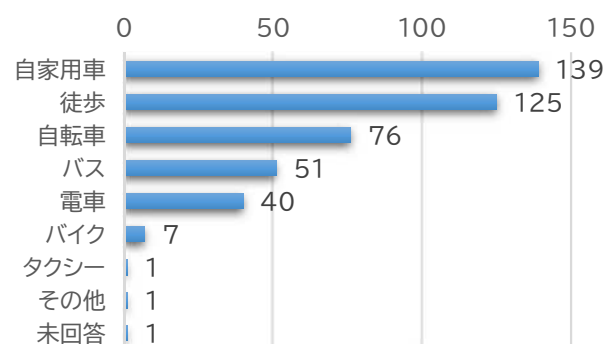
問3：職業



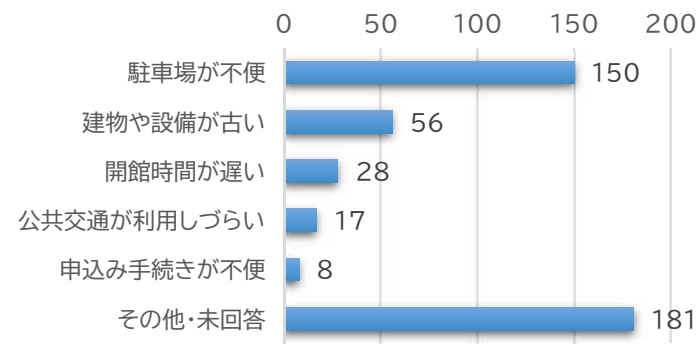
問5：利用頻度



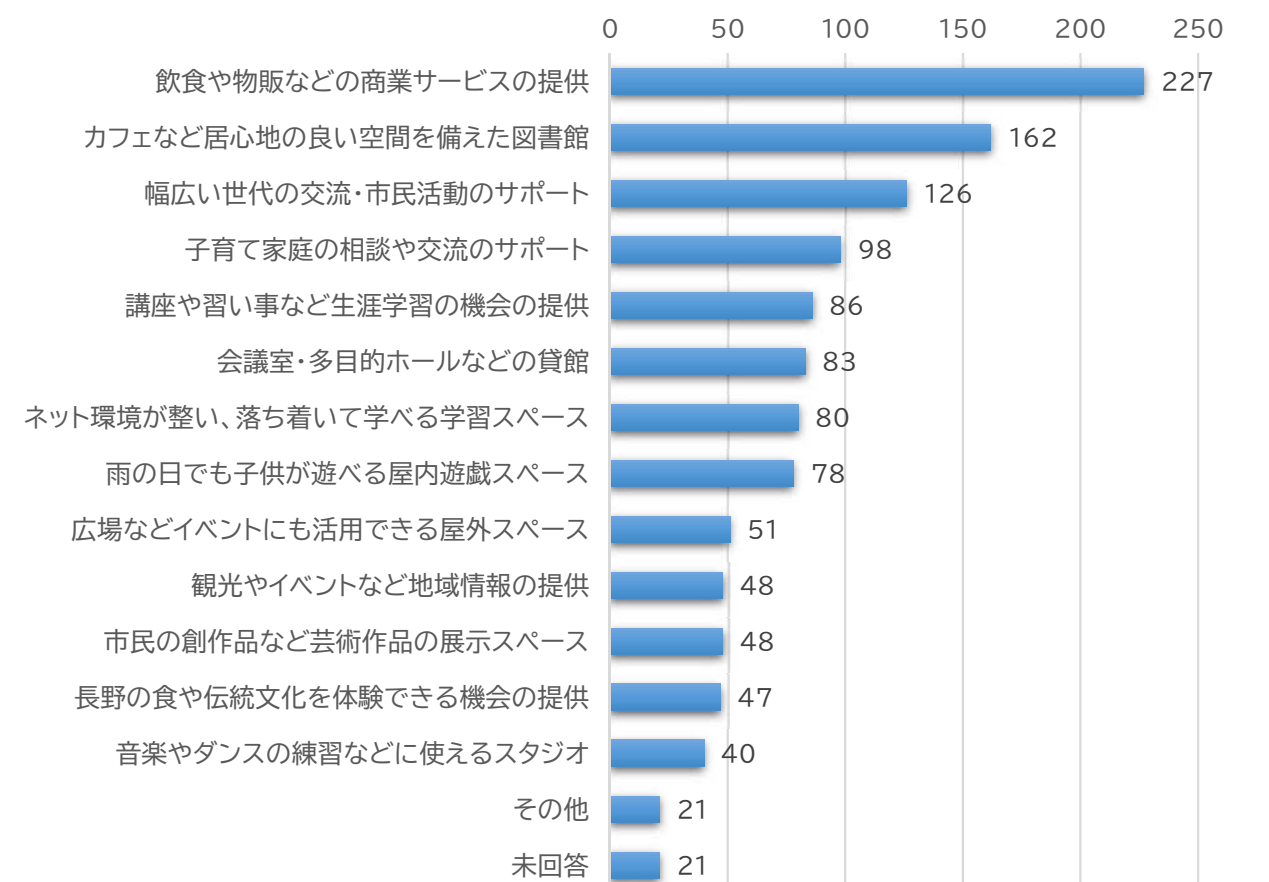
問6：もんぜんぷら座への交通手段



問7：利用上で最も不便なこと



問11：新田町交差点周辺エリアに必要なと思う機能 複数回答(3つ)



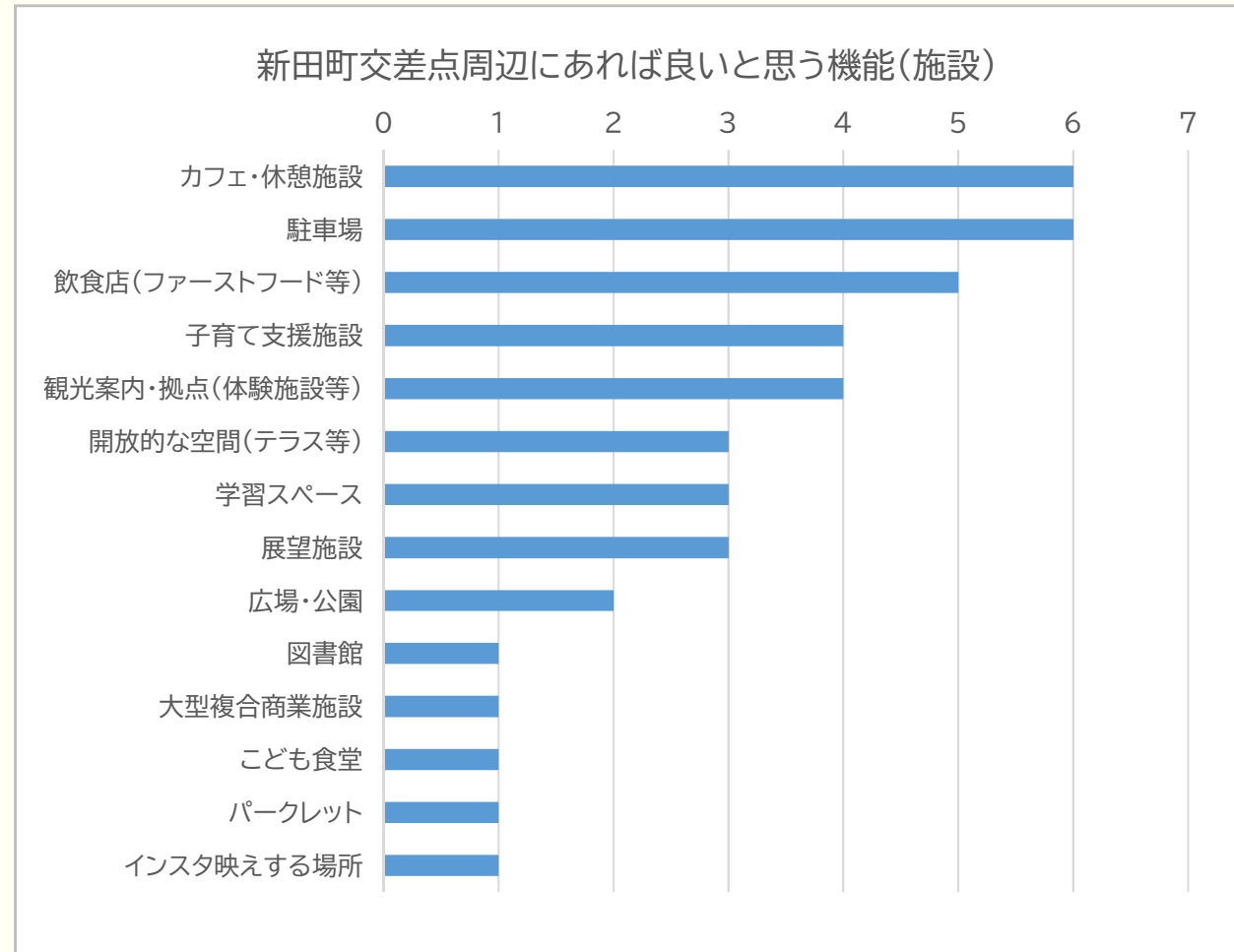
◆長野市役所冬季インターンアンケート(令和4年度)

○長野市のまちづくりに関するアンケート

調査日: 令和5年2月17日(金)

調査対象: 長野市冬季インターンシップ参加者(大学生、高専生) 19人

Q. まちの賑わいを再生するため、もんぜんぱら座敷地を含めて新田町交差点周辺にどのような機能(施設)があれば良いと思いますか? (自由記載、3つ以内) (人)



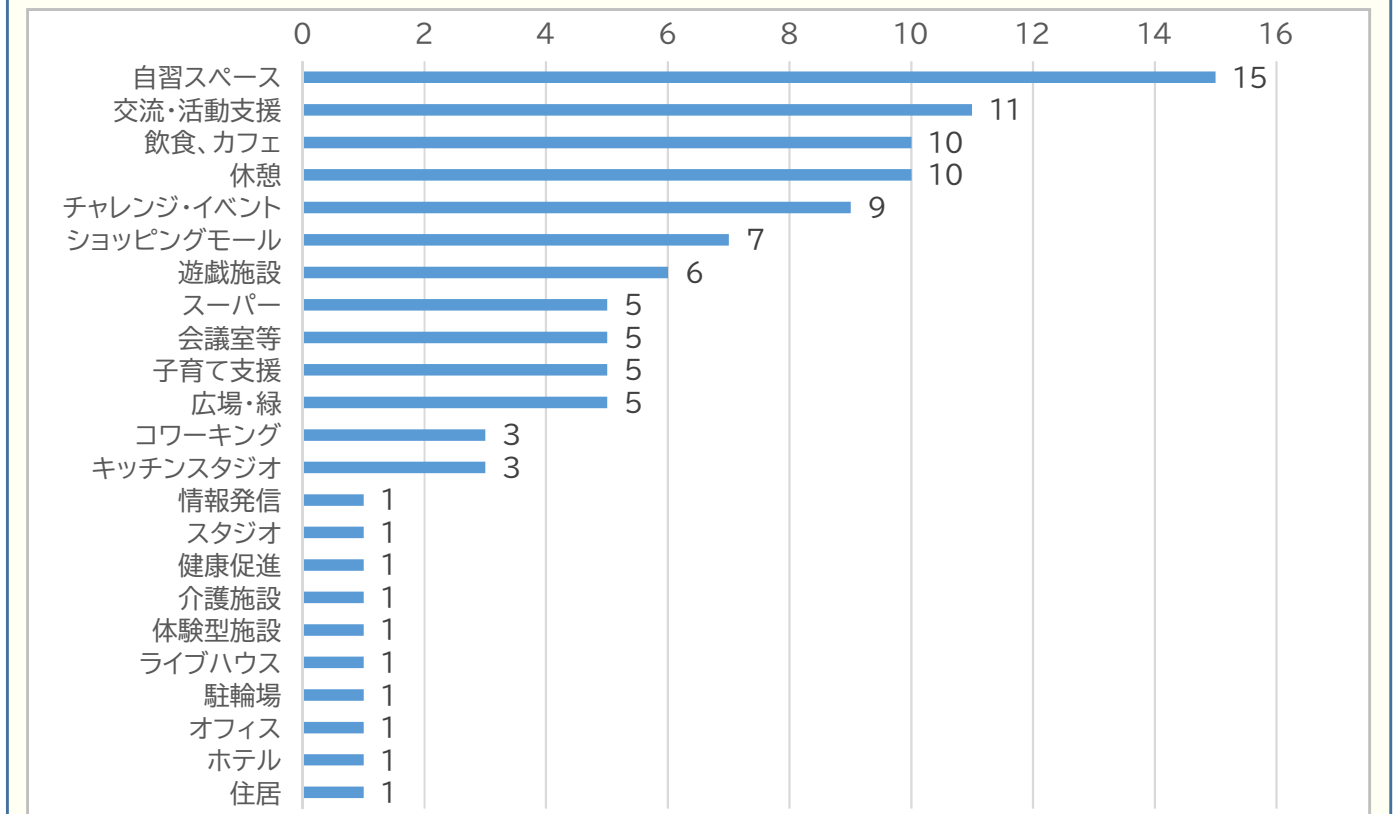
◆長野県立大学生アンケート(令和3年度)

○もんぜんぱら座に関するアンケート

調査期間: 令和3年7月~9月

調査対象: 長野県立大学グローバルマネジメント学部学生 61名

Q.もんぜんぱら座敷地の後利用として欲しい機能(施設)(自由記載) (人)



◆長野市立長野中学・高等学校アンケート(令和3年度)

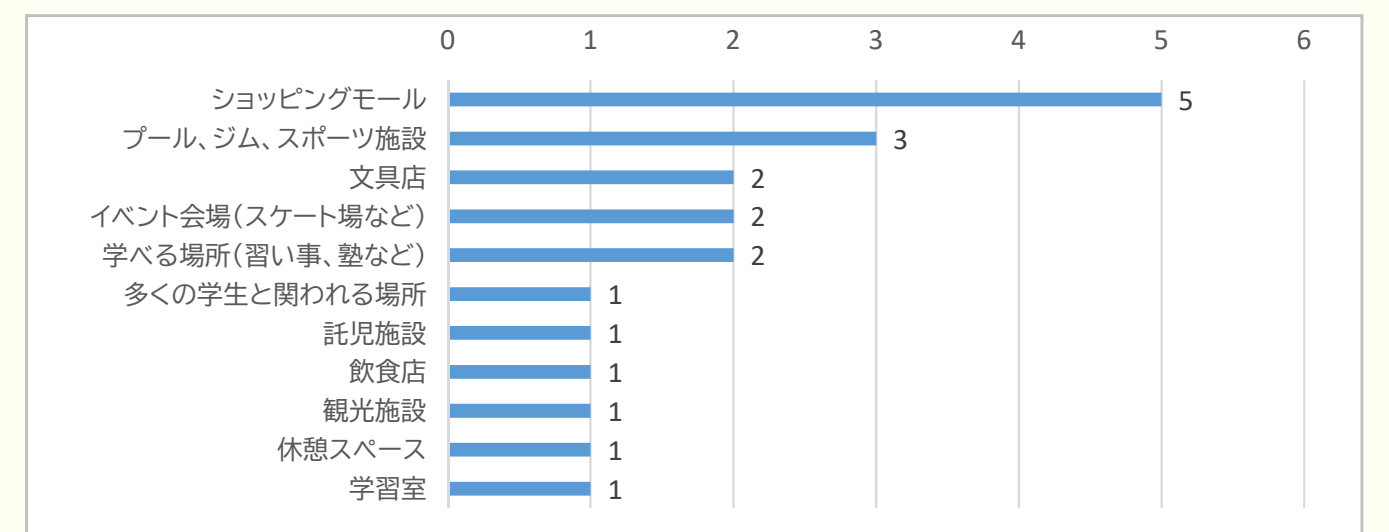
○もんぜんぱら座に関するアンケート

調査日: 令和3年7月16日

調査対象: 長野市立長野中学・高等学校生徒 9名(高校生4名、中学生5名)

調査方法: キャリアデザイン教育の一環として市の出前講座を実施

Q.もんぜんぱら座敷地の後利用として欲しい機能(施設)(自由記載、3つ以内) (人)



もんぜんぷら座敷地利活用検討に関するワーキンググループの検討結果について

■ 第1回 令和5年1月30日(月)

1 テーマ 「新田町交差点周辺に残すべき機能について」

2 検討結果

事務局から、もんぜんぷら座及び関連施設の利用状況について提示し、以下の意見がありました。

- ・子育て支援施設は必要な機能であり、更なる拡充を検討していく必要がある。(幅広い世代の利用、保護者同士の交流、遊び場 など)
- ・学生などが学習できる場所が必要である。
- ・市民活動に利用され、他の類似施設でも稼働率が高い施設(ぷら座BOX、ホール)の扱いは検討が必要である。
- ・既存テナントの扱いについては、運営側の意向を踏まえた検討が必要である。

【その他の意見】

- ・長野の食や文化が体験できる場が必要ではないか。
- ・他にはない新たな図書館があると良いのではないか。
- ・商業施設が出店したくなるような「まち」にすることが重要である。

■ 第2回 令和5年2月21日(火)

1 テーマ 「新田町交差点周辺に残すべき機能について」

2 検討結果

事務局から、既存テナントのヒアリング結果を提示し、既存機能の取り扱いについて以下の意見がありました。

機能	意見
子育て支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
市民活動・交流支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
生涯学習支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
就労支援	新田町交差点周辺である必要はない。
生活等支援	新田町交差点周辺である必要はない。
障害者支援	新田町交差点周辺である必要はない。
外国人支援	新田町交差点周辺である必要はないが、国際交流機能は残すことが望ましい。
観光・情報発信	観光客のための情報発信機能など観光に寄与するものがあることが望ましい。 ※既存施設は事務所機能のみのため新田町交差点周辺である必要はない。
商業	大きな役割の一つである。 ※事業者の出店意向の影響が大きく、周辺商業環境等を見て判断が必要である。

【その他の意見】

- ・多世代が交流できる、従来と違う図書館のような施設が望ましい。
- ・既存の機能を残すだけでは意味がない。何がこの場所に必要なのか、今ある機能をどのように発展させていくのかという方向に議論をシフトしていく必要がある。
- ・長野都市圏の中心として、地域住民と来街者の両方の視点で検討が必要である。

■ 第3回 令和5年6月20日(火)

1 テーマ 「新田町交差点周辺エリアに導入する機能について」

2 検討結果

事務局から、市民アンケートの調査結果を提示し、新たに導入する機能について以下の意見がありました。

- ・ 飲食や物販については、来街目的となる魅力的なサービスを提供する必要がある。
- ・ このエリアは常に変化がある場所、ここでしか体験できない場所にする必要がある。
- ・ 他にはない特徴的な図書館が必要である。
- ・ 子育て支援の拠点が必要である。
- ・ 市民アンケートで回答があった、新田町交差点周辺に必要なと思う機能については、上位の機能に絞って検討していく必要がある。
- ・ もんぜんぷら座の敷地だけではスペースが限られるため、再開発事業の活用など周辺街区も含めて、機能の導入を検討していく必要がある。
- ・ 駐車場については、新田町交差点周辺に導入する機能としてではなく、導入する機能の付随施設として整理していく必要がある。

■まとめ

1 もんぜんぷら座の既存機能の取り扱い

機能	意見
子育て支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
市民活動・交流支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
生涯学習支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
就労支援	新田町交差点周辺である必要はない。
生活等支援	新田町交差点周辺である必要はない。
障害者支援	新田町交差点周辺である必要はない。
外国人支援	新田町交差点周辺である必要はないが、国際交流機能は残すことが望ましい。
観光・情報発信	観光客のための情報発信機能など観光に寄与するものがあることが望ましい。 ※既存施設は事務所機能のみのため新田町交差点周辺である必要はない。
商業	大きな役割の一つである。 ※事業者の出店意向の影響が大きく、周辺商業環境等を見て判断が必要である。

2 新田町交差点周辺に導入することが望ましい機能

機能	意見
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを通して親同士が交流できる場所が必要である。 未就学児童から小学生まで、幅広い世代が利用できることが望ましい。 雨や雪の日でも遊べる広場が必要である。
市民活動・交流支援	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代との交流ができる場所が必要である。 地元住民や観光客などが交流できる場が必要である。
文化	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代が集い交流できる、他にはない特徴的な図書館が必要である。
青少年育成・生涯学習支援	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代が利用できる生涯学習の場が必要である。 学生などが利用できる学習コーナーが必要である。
観光・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 長野の食や文化が体験できるなど、情報発信の場が必要である。
商業	<ul style="list-style-type: none"> 飲食や物販については、来街目的となる魅力的なサービスを提供する必要がある。

3 その他

<ul style="list-style-type: none"> もんぜんぷら座の敷地だけでは、スペースが限られるため、再開発事業の活用など周辺街区も含めて、機能の導入を検討していく必要がある。 新たな施設の整備にあたっては、必要な機能の複合化の検討が必要である。 建物の外観デザインも重要である。建物自体が来街目的となることが期待できる。

第 3 回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会

日 時 令和5年11月20日(月)

場 所 長野市役所第二庁舎10階 講堂

協議内容 ・導入機能の配置の検討について
・もんぜんぷら座敷地の利活用の検討について

【資料1～3】 【参考資料1～3】

■第1回 令和4年12月23日(金) 長野市役所 第二庁舎10階 講堂

- 1 テーマ 「もんぜんぷら座の現状とこれまでの検討経過について」
- 2 意見
 - ・もんぜんぷら座の敷地だけではスペースが限られるため、周辺街区も含めて検討が必要である。
 - ・市民や利用者の意見を把握してほしい。
 - ・既存機能を残すことも大事だが、健康や交流をキーワードにした機能が必要である。
 - ・人が集り交流できる場が必要である。
 - ・新たな機能を考えることが必要である。
 - ・若い世代の人たちが集える場が必要である。
 - ・様々なサービス機能にアートや文化の要素を加えることが望ましい。
 - ・TOiGOとの機能の棲み分けや、TOiGOへの機能移転について検討が必要である。

■第2回 令和5年7月4日(火) 長野市ふれあい福祉センター 5階 ホール

- 1 テーマ 「新田町交差点周辺エリアに導入する機能の検討について」
- 2 検討結果

市民アンケートの調査結果及びワーキンググループの検討結果について報告し、もんぜんぷら座の既存機能の取り扱い及び新田町交差点周辺に導入することが望ましい機能について以下のようにまとめる。

◆もんぜんぷら座の既存機能の取り扱い

機能	検討結果
子育て支援 市民活動・交流支援 生涯学習支援	新田町交差点周辺に残した上で機能充実を図ることが望ましい。
就労支援 生活等支援 障害者支援 外国人支援	新田町交差点周辺である必要はない。 (国際交流機能は残すことが望ましい。)
観光・情報発信	観光客のための情報発信機能など観光に寄与するものがあることが望ましい。 ※既存施設は事務所機能のみのため新田町交差点周辺である必要はない。
商業	大きな役割の一つである。 ※事業者の出店意向の影響が大きく、周辺商業環境等を見て判断が必要である。

◆新田町交差点周辺に導入することが望ましい機能

機能	具体的な機能
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを通して親同士が交流できる場所 ・未就学児童から小学生まで、幅広い世代が利用できる場所 ・雨や雪の日でも遊べる広場
市民活動・交流支援	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の居場所など幅広い世代が交流ができる場所 ・地元住民や観光客などが交流できる場所 ・音楽活動として使えるスタジオ
青少年育成・生涯学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代が利用できる生涯学習の場 ・学生などが利用できる学習コーナー
文化	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代が集い交流できる、他にはない特徴的な図書館
観光・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・長野の食や文化が体験できるなど、情報発信の場
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食や物販など、来街目的となる魅力的なサービスを提供する場

機能導入にあたり検討が必要な事項

- ・もんぜんぷら座の敷地だけではスペースが限られるため、周辺街区も含めて、再開発事業などの活用を検討。
- ・TOiGOの機能見直しと併せて検討。
- ・新たな施設を整備する場合は、施設の複合化について検討。
- ・魅力的な建物のデザインを検討。

もんぜんぱら座廃止に伴う既存機能の移転

「長野中央西地区市街地総合再生基本計画」
(令和4年2月作成)

新田町交差点エリアの役割

“市民活動と情報発信により
中心市街地の結節点となる地域”

「もんぜんぱら座利用者アンケート」

(令和5年5月実施)

市民活動・交流支援、生涯学習支援、子育て支援の各施設の利用者の多くは、もんぜんぱら座解体後も現在地への立地を希望

市民活動・交流支援、生涯学習支援、子育て支援等の機能は、
新田町交差点周辺エリア内に存続させる

移転先の検討①

移転先 メリット デメリット	現位置	周辺街区
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 市が所有する土地を活用して新たな施設の整備が可能 長年市民に親しまれてきた場所であり、認知度が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 既存機能の直接移転が可能 導入機能に応じた敷地の確保が可能 周辺街区の都市機能の更新とともに、もんぜんぱら座跡地の活用の幅が広がる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> もんぜんぱら座の解体から新たな施設の整備までの間、既存機能の休止又は仮移転が必要 既存機能を休止又は仮移転する場合は、エリアの拠点性の低下が懸念される 敷地が不整形で広さが限られており、新たな施設を整備する場合は規模に制限を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> 民有地のため、市が新たな施設を整備する場合には、敷地の確保が必要 (北西・南東街区)

既存機能のサービスを継続しつつ、移転費用の軽減を図り、都市機能の更新など新田町交差点一帯のまちづくりにつなげていくため

周辺街区への機能移転が望ましい

移転先の検討②

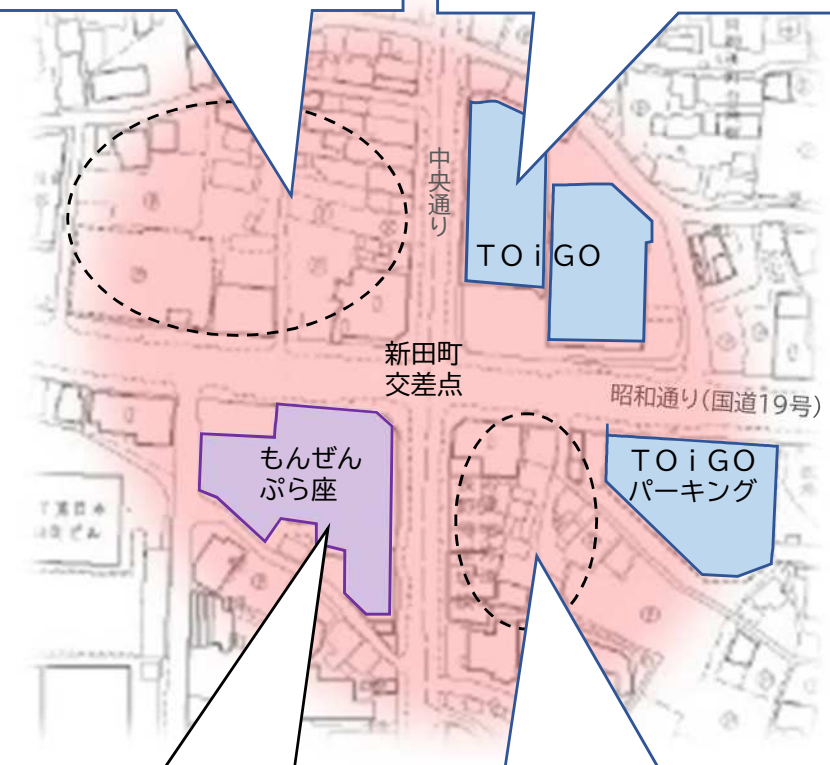
北西街区

- 老朽化した建物や低未利用地が多く、都市機能の更新が課題
- 交差点周辺では最も面積が大きく整形な街区である
- ⇒まとまった敷地が確保できる
- ⇒機能移転に併せて都市機能の更新が可能

北東街区 (TOiGO)

- 再開発事業により都市機能が更新されている
- 生涯学習センターは中心市街地活性化を担う施設として利用者を増やすことが課題*
- ⇒生涯学習センターの機能再編を検討

※第三次長野市生涯学習推進計画



南西街区 (もんぜんぱら座)

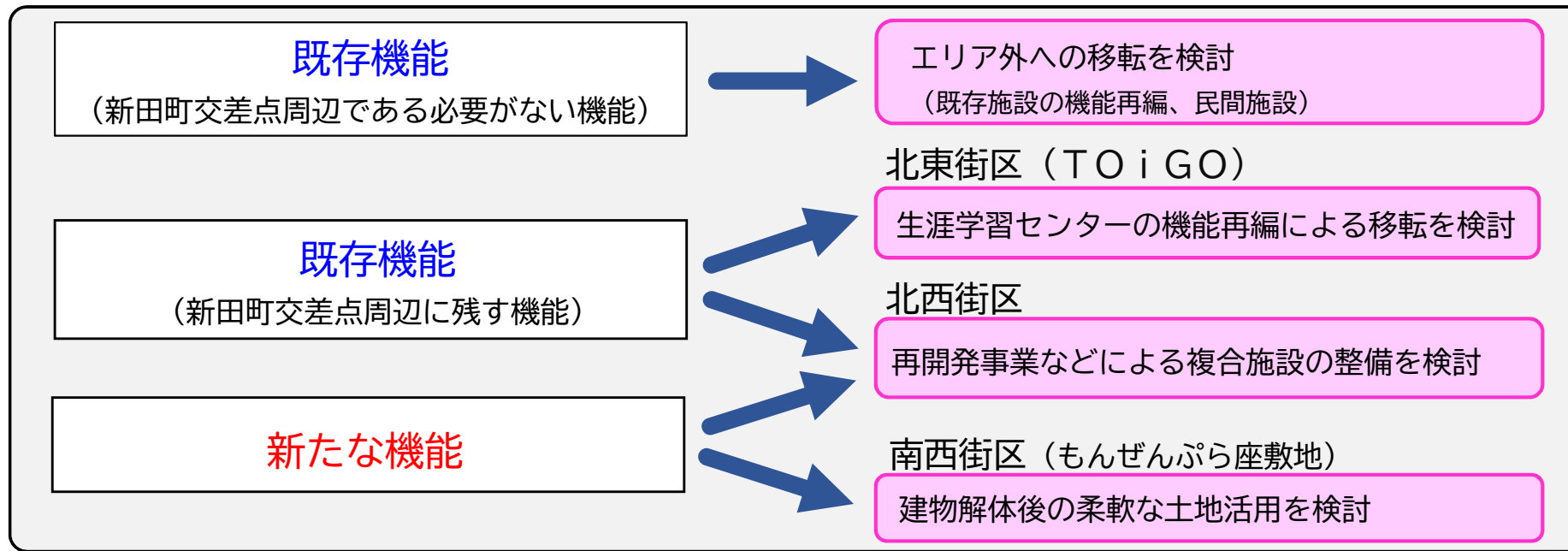
- 施設老朽化によりR12年度末の廃止が予定されており、建物解体後の土地の活用が課題

南東街区

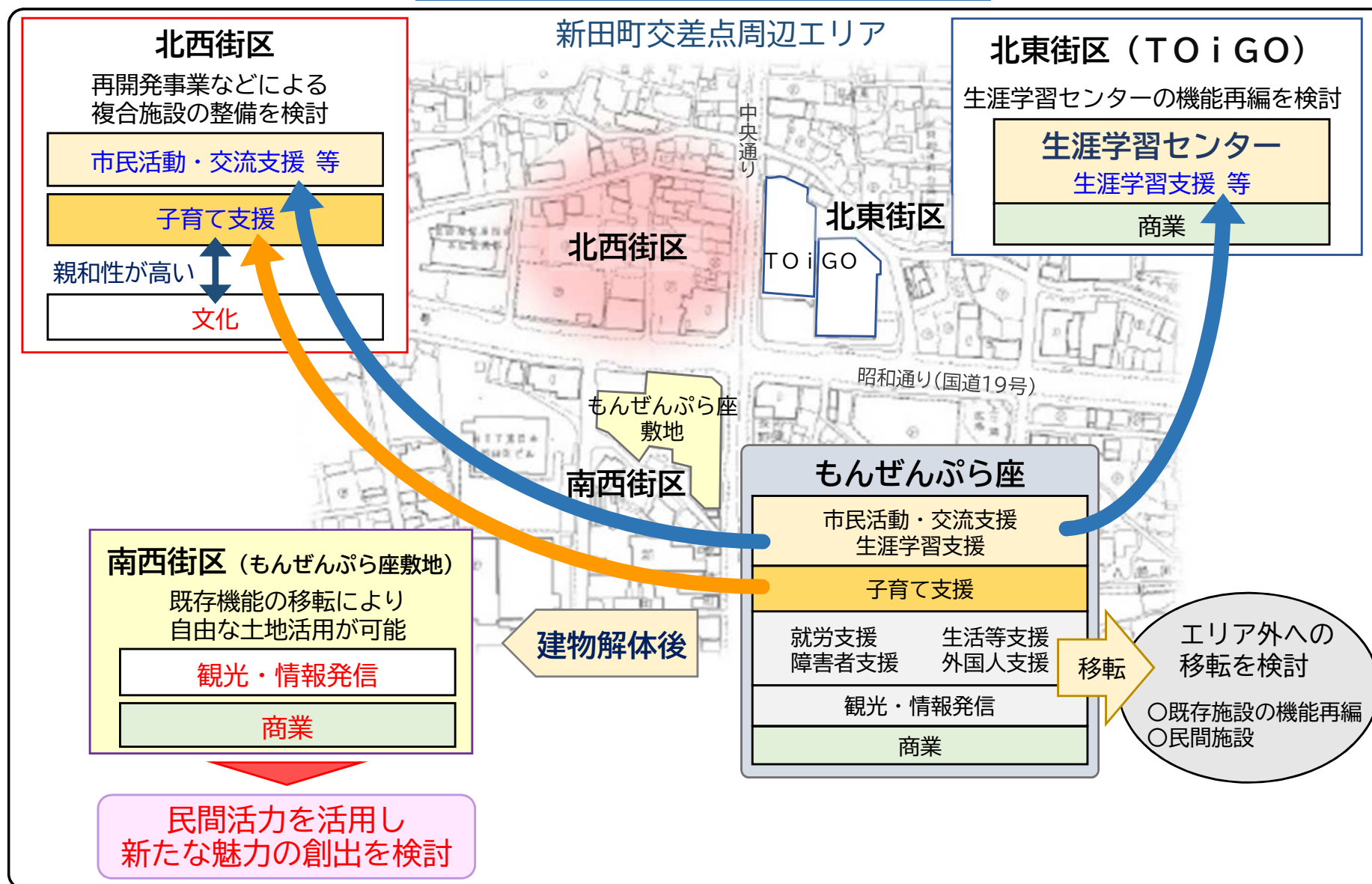
- 街区の一部は再開発事業により都市機能が更新されている
- 老朽化した建物や低未利用地があり、都市機能の更新が課題
- ⇒機能移転には敷地の広さが限られる

北東・北西街区への機能移転を検討

機能配置の方向性



機能配置の素案 (イメージ図)



新田町交差点周辺における商業機能導入の検討

新田町交差点周辺に導入が望ましい機能 (第2回検討部会より)

新たな機能	文化	幅広い世代が集い交流できる、他にはない特徴的な図書館
	観光・情報発信	長野の食や文化が体験できるなど、情報発信の場
	商業	飲食や物販など、来街目的となる魅力的なサービスを提供できる場

もんぜんぷら座周辺のまちづくりに関するアンケート結果

実施期間 令和5年4月26日～5月10日
回答数 667通

Q9 新田町交差点周辺エリアに必要なと思う機能 (上位5機能)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1 飲食や物販など商業サービスの提供 | 55% |
| 2 カフェなど居心地の良い空間を備えた図書館 | 40% |
| 3 雨の日でも子供が遊べる屋内遊戯スペース | 28% |
| 4 長野の食や伝統文化を体験できる機会の提供 | 25% |
| 5 幅広い世代の交流・市民活動のサポート | 23% |

民間事業者へのヒアリング結果 (大手小売事業者・商業コンサルタント)

- 大規模商業施設の出店は困難 (安価な借地料・利用しやすい駐車場・広い敷地が必須である)
- 公共交通機関が発達していても、駐車場とセットでの整備が必要
- テナント料の高い施設への入居は困難
- 土産や食をテーマにした商業サービスは可能性がある
- 人が集まる機能がセットであれば可能性はある

商業立地のポイント

- ・出店のしやすさ (低賃料など)
- ・長野らしさをテーマとした飲食・物販
- ・集客力のある施設との相乗効果

もんぜんぷら座

年度			H30(2018)		R4(2022)	
区分			人数	稼働率(時間)	人数	稼働率(時間)
会議室301	90㎡	300円/時間	35,283人	50.7%	20,235人	29.2%
会議室302	90㎡	300円/時間		48.1%		31.5%
会議室303	70㎡	300円/時間		48.6%		31.3%
会議室304	160㎡	300円/時間		46.2%		36.4%
会議室601	62㎡	300円/時間		36.7%		22.4%
会議室701	62㎡	300円/時間		32.2%		18.6%
会議室801	92㎡	300円/時間		34.9%		0.6%
会議室(小計)				35,283人		39.8%
BOX1	33㎡	300円/時間	30,742人	59.7%	13,703人	25.5%
BOX2	47㎡	300円/時間		70.2%		35.8%
BOX3	67㎡	300円/時間		71.1%		39.9%
BOX4	95㎡	300円/時間		80.0%		49.4%
BOX5	65㎡	300円/時間		74.9%		50.8%
BOX(小計)			30,742人	71.2%	13,703人	40.3%
ぷら座ホール	780㎡	500円/時間	28,490人	69.8%	11,657人	56.6%
※会場1/3を使用(全体を使用するイベントは数件)						
市民ギャラリー	170㎡	1000円/日	14,908人	79.5%	8,479人	69.9%
スクランブル広場			36,183人		10,162人	
学習コーナー			31,568人		12,068人	
ミニギャラリー			5,567人		1,372人	
市民協働スペース(事務局3~4名)			2,731人		2,814人	
シニアアクティブルーム(事務局1名)			13,021人		8,784人	
その他の公共公益施設			74,822人		46,170人	
利用者 総計			273,315人	54.9%	135,444人	48.6%

生涯学習センター

年度			H30(2018)		R4(2022)	
区分			人数	稼働率(コマ※)	人数	稼働率(コマ※)
第1学習室(1,2一体利用可)	73㎡	1670~1980円/コマ	10,716人	54.5%	4,170人	34.2%
第2学習室(1,2一体利用可)	71㎡	1670~1880円/コマ	8,667人	42.9%	2,874人	25.6%
第3学習室(音楽・軽運動可)	90㎡	2080~2400円/コマ	14,550人	55.6%	3,296人	28.4%
第4学習室(音楽・軽運動可)	75㎡	1770~1980円/コマ	3,950人	28.2%	721人	8.8%
第5学習室	68㎡	1560~1770円/コマ	8,017人	52.1%	2,516人	27.3%
第6学習室	37㎡	830~930円/コマ	5,201人	62.1%	1,819人	31.8%
和室	50㎡	1150~1350円/コマ	3,568人	31.9%	589人	9.9%
第3・4学習室(小計)			18,500人	41.9%	4,017人	18.6%
学習室(小計)			54,669人	48.2%	15,985人	23.1%
大学習室1(150人収容)	195㎡	4600~5330円/コマ	30,936人	52.4%	11,909人	32.7%
大学習室2	166㎡	3970~4500円/コマ	24,059人	46.6%	9,084人	35.3%
大学習室3	166㎡	3970~4500円/コマ	29,816人	55.5%	10,499人	38.3%
大学習室1・2・3(小計)			84,811人	51.5%	31,492人	35.4%
幼児室	25㎡	510~620円/コマ	401人	8.2%	79人	1.3%
ホワイエ(展示等に利用)	68㎡	3760~4280円/コマ	10,626人	16.7%	191人	3.5%
控室1	13㎡	200~300円/コマ	1,366人	30.7%	271人	10.2%
控室2	9㎡	200円/コマ	684人	20.1%	118人	6.6%
控室3	9㎡	200円/コマ	857人	25.7%	212人	10.3%
放送大学			600人		63人	
交流サロン			45,247人		4,427人	
利用者 総計			199,261人	38.9%	52,838人	20.3%

※コマ: 午前(9:00~12:30)・午後(13:00~17:00)・夜間(17:30~21:30)

凡例 会議室 防音室 ホール ギャラリー

ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス

所在地：東京都武蔵野市（人口：約14万8千人）
立地：JR「武蔵境駅」南口徒歩1分
運営者：武蔵野生涯学習振興事業団（指定管理）
開設：平成23年（2011年）
構造/階数：SRC造、RC造/地上4階、地下3階
敷地面積：2,166.20㎡ 延床面積：9,809.76㎡



出典：武蔵野プレイスHP

特徴

- 図書館機能を中心に生涯学習、市民活動支援や青少年活動を支援する機能が融合する複合施設であり、幅広い世代が来館し、にぎわいを創出。
- 若者の居場所として青少年のみ利用可能なスタジオやラウンジを備え、様々な興味関心に応じた活動を支援。
- 1階中央のカフェは書籍の持ち込みも可能で、夕方からはアルコール類を提供。

主な施設

- ・ 図書館(18万冊)
- ・ ワークテラス(コワーキング、学習室等)
- ・ ワークラウンジ(市民活動支援)
- ・ ティーンズスタジオ(青少年活動支援)
- ・ カフェ
- ・ 駐車場(28台)



メインライブラリー



ティーンズスタジオ



カフェ 出典：武蔵野プレイスHP

ゆいの森あらかわ

所在地：東京都荒川区（人口：約21万5千人）
立地：都電荒川線「荒川二丁目停留場」徒歩1分
運営者：荒川区（直営）
開設：平成29年（2017年）3月
構造/階数：RC造/地上5階、地下1階
敷地面積：4,110.88㎡ 延床面積：10,943.74㎡



特徴

- 図書館、文学館、子どもひろばが融合した複合施設であり、多世代の利用者を呼び込み世代間の交流を促進。
- 交流スペースや開放的なホールを設けるなど「賑やかな図書館」を目指し、1階から5階に、中心から外側に向かって、賑わいから静寂へ変化する滞在型の読書空間を演出。
- 複合施設内の各施設を一つの部署(ゆいの森課)で運営することで業務を効率化。

主な施設

- ・ 図書館(60万冊)
- ・ 吉村昭記念文学館
- ・ 子どもひろば(遊び場・託児)
- ・ ゆいの森ホール(壁面に絵本)
- ・ カフェ
- ・ 駐車場(12台)



図書館



遊びラウンジ



ゆいの森ホール 出典：ゆいの森あらかわHP

みんなの森 ぎふメディアコスモス

所在地：岐阜県岐阜市（人口：約40万3千人）
立地：JR「岐阜駅」徒歩25分
「市役所前」バス停下車すぐ
運営者：岐阜市（直営）
開設：平成27年（2015年）2月
構造/階数：RC造、S造、木造/地上2階、地下1階
建築面積：7530.57㎡ 延床面積 15,444.23㎡



出典：ぎふメディアコスモスHP

特徴

- 図書館と市民活動交流センター、ギャラリー、ホール等が一体となった複合文化施設。
- 図書館への動線は市民活動交流センターを通り抜ける必要があり、集客力の高い施設を2階に配置することで施設の相互利用を促進。
- 木造の格子屋根とドーム状のかさ(グローブ)が印象的なデザイン。

主な施設

- ・ 図書館(30万冊)
- ・ 市民活動交流センター
- ・ ホール
- ・ ギャラリー
- ・ スタジオ
- ・ カフェ



図書館



多文化交流プラザ



みんなのギャラリー

出典：ぎふメディアコスモスHP

◆ランドマークになっている特徴的な文化施設

TOYAMAキラリ

- (富山県富山市)
- 木材を多用した特徴的な内観
 - 図書館、美術館、銀行が入居する複合施設



外観



木材を多用した特徴的な内観

出典：富山市図書館HP、富山市ガラス美術館HP

石川県立図書館

- (石川県金沢市)
- 大きな吹き抜けを囲んで配置された閲覧スペース
 - 広いこどもエリアや交流スペースを備える



外観



大きな吹き抜けを囲んで配置された閲覧スペース

出典：石川県立図書館HP

金沢海みらい図書館

- (石川県金沢市)
- 外壁に約6千もの丸窓を配置した印象的なデザイン
 - 図書館のほかホールや集会室などの交流機能を備える



外観



壁のパンチングが柔らかな光を取り入れる

出典：金沢みらい図書館HP

PPP/PFI

「PPP」と「PFI」は、公共の施設とサービスに民間の資金と創意工夫を最大限活用する、新しい資本主義における『新たな官民連携』取組の柱となるものです。

PPP

（パブリック・プライベート・パートナーシップ）とは、公民が連携して公共サービスの提供を行うこと。PPPの中には、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営（DBO）方式、さらに包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等も含まれます。

PFI

（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。事業コストの削減と、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を目指します。

道の駅グリーンファーム館山(千葉県館山市)

事業手法：公設民営（DBO）方式
所在地：千葉県館山市（人口：約4万4千人）
立地：国道と市道が交わる房総エリアの中心部
開設：令和6年2月開設予定
運営：民間事業者（指定管理）
施設規模：平屋建 敷地面積22,905㎡ 延床面積836㎡
事業費：約6億円（施設整備費）



イメージ図

特徴

- 人・モノ・情報の拠点施設を公設民営方式の手法により民間のノウハウを活用して整備。
- 農産物の流通改善や観光振興を図り、生産者との交流や収穫・調理体験等を一体的に体験できる道の駅。
- 千葉県南部地域の観光情報や歴史文化情報を発信する、地域のゲートウェイ。

主な施設（予定）

- ・ レストラン
- ・ ファーストフード店
- ・ 農産物直売所
- ・ 特産品販売
- ・ 体験キッチンなど
- ・ 駐車場(約180台)



農産物直売所



レストラン



体験キッチン

出典：館山市観光協会HP
館山市HP

フラノマルシェ(北海道富良野市)

事業手法：PPP
所在地：北海道富良野市（人口：約2万人）
立地：「JR富良野駅」から約7分
開設：平成22年4月
運営：まちづくり会社が官有地を賃貸し運営
施設規模：平屋建 敷地面積6,634㎡、延床面積1,336㎡
事業費：約3.7億円（施設整備費）



特徴

- 民間が官有地を賃貸し、農と食をテーマとする複合商業施設を整備。
- 富良野の食文化の拠点施設として、地元食材を使った飲食店や富良野の特産品などの販売。
- 観光客のおもてなしやタウン情報の発信拠点。

主な施設

- ・ レストラン
- ・ ベーカリーショップ
- ・ ファーストフード店
- ・ 農産物直売所
- ・ 物産品販売など
- ・ 駐車場(約100台)



外観



農産物直売所



物産品販売

出典：ふらのまちづくり株式会社HP
富良野市HP

道の駅いぶすき(鹿児島県指宿市)

事業手法：PFI
所在地：鹿児島県指宿市（人口：約4万人）
立地：JR「薩摩今和泉駅」から約5分
開設：平成16年10月
運営：民間事業者（指定管理）
施設規模：2階建 敷地面積2,600㎡、延床面積809㎡
事業費：約3.6億円
（施設整備費2億円、維持管理費1.6億円 15年間）



特徴

- 公園の敷地内に、民間の資金で地域交流施設(道の駅いぶすき)を建設。完成後所有権を指宿市に移管。
- 民間事業者が道の駅いぶすきの運営等を行う。
- 特産品の販売代行業務は、市内で生産される花卉・観葉植物類、ブランド産品、工芸品、観光土産品等を販売。

主な施設

- ・ レストラン
- ・ ベーカリーショップ
- ・ ファーストフード店
- ・ 農産物直売所
- ・ 特産品販売など
- ・ 駐車場(約170台)



外観



特産品販売



駐車場

出典：道の駅いぶすきHP

第 4 回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会

日 時 令和6年2月5日(月)

場 所 長野市役所第二庁舎10階 講堂

協議内容 ・答申素案について

【資料1・2】

もんぜんぶら座敷地の利活用検討（答申素案）

《新田町交差点周辺のまちづくり》

1 はじめに

新田町交差点周辺エリアは、長野駅から善光寺を結ぶ善光寺表参道のほぼ中間に位置し、もんぜんぶら座や生涯学習センターなどの公共施設が立地しており、中心市街地における市民活動や交流、生涯学習の拠点となっております。

しかしながら、もんぜんぶら座は施設の老朽化が著しく、令和12年度末に廃止が予定されていることから、当該施設解体後の敷地の利活用について、市から長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会に対して諮問がありました。これを受け、委員会に検討部会を設置し、もんぜんぶら座敷地の利活用及び当該施設の既存機能取り扱い、新田町交差点周辺のまちづくりについて検討を行ってまいりました。

2 まちづくりの方向性

市が令和4年2月に策定した長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、当該エリアの都市の将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」と位置付けており、もんぜんぶら座の廃止後も引き続き、市民活動や交流の拠点として、その機能を維持していくことが必要です。

また、当該エリアが子育て世帯や若者など、多くの人々が集う、まちなかの居場所となり、幅広い世代の交流・学びの拠点となるよう、既存機能の拡充に加え、まちの魅力につながる新たな機能の導入を図り、官民協働によるまちづくりを行っていくことが重要です。

3 まちづくりへの提言

- ・もんぜんぶら座の既存機能のうち、市民活動・交流支援、生涯学習支援、子育て支援機能は、当該エリアに残して機能拡充を検討するとともに、新たな機能として、図書館機能やギャラリー機能などの文化教育機能や観光・情報発信機能、商業機能の導入を検討すること。
また、新田町交差点周辺施設の機能再編や再開発事業など都市機能更新に合わせた複合施設の整備により、機能の導入を検討すること。
- ・もんぜんぶら座の既存機能のうち、就労支援、生活等支援、障害者支援、外国人支援、観光・情報発信機能(事務所)については、エリア外への移転を検討すること。
- ・もんぜんぶら座の既存機能のうち、商業機能は、周辺の商業環境等を踏まえ、取り扱いを検討すること。
- ・もんぜんぶら座の敷地は、既存機能の移転により、建物解体後に自由な土地活用が可能となることから、民間活力を活用し、長野の食や文化などが体験できる場や、来街目的となる魅力的な商業など、新たな魅力につながる機能の導入を検討すること。

◆ まちづくりの方向性

市が令和4年2月に策定した長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、当該エリアの都市の将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」と位置付けており、もんぜんぱら座の廃止後も引き続き、市民活動や交流の拠点として、その機能を維持していくことが必要です。

また、当該エリアが子育て世帯や若者など、多くの人々が集う、まちなかの居場所となり、幅広い世代の交流・学びの拠点となるよう、既存機能の拡充に加え、まちの魅力につながる新たな機能の導入を図り、官民協働によるまちづくりを行っていくことが重要です。

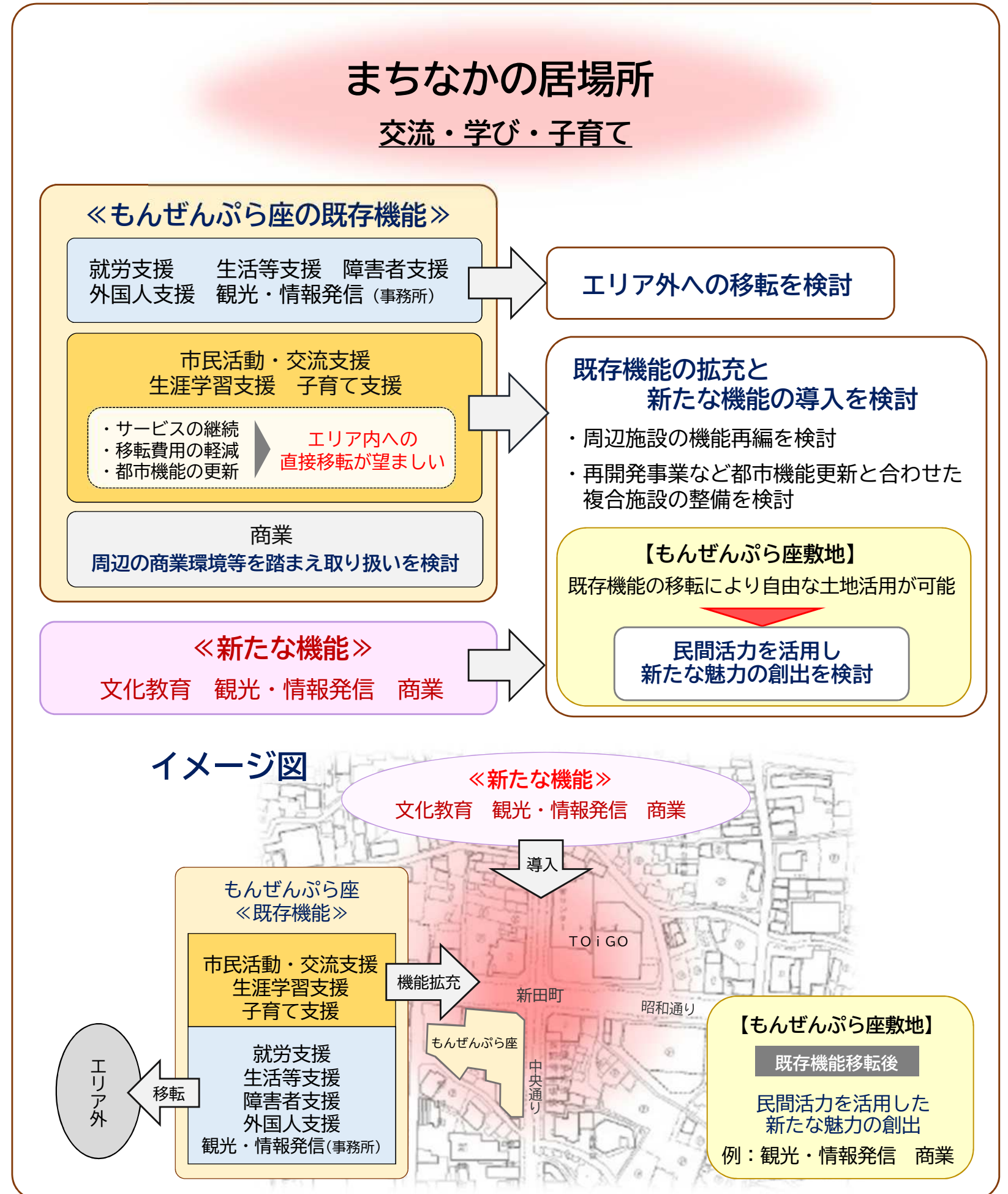
もんぜんぱら座の既存機能の取り扱い

機能	機能の取り扱い
市民活動・交流支援 生涯学習支援 子育て支援	新田町交差点周辺エリアに残した上で機能拡充することが望ましい
就労支援 生活等支援 障害者支援 外国人支援 観光・情報発信(事務所)	まちの賑いや魅力の創出に直接つながるものではなく、エリア外に移転してサービス向上を図ることが望ましい
商業	周辺の商業環境等を踏まえて判断が必要

新田町交差点周辺に導入することが望ましい機能

機能	具体的な機能
既存機能の拡充	市民活動・交流支援 ・若者の居場所など幅広い世代が交流ができる場所 ・地元住民や観光客などが交流できる場所 ・音楽活動として使えるスタジオ
	青少年育成・生涯学習支援 ・幅広い世代が利用できる生涯学習の場 ・学生などが利用できる学習コーナー
	子育て支援 ・子育てを通して親同士が交流できる場所 ・未就学児童から小学生まで、幅広い世代が利用できる場所 ・雨や雪の日でも遊べる広場
新たな機能	文化教育 ・図書館機能やギャラリー機能など
	観光・情報発信 ・長野の食や文化が体験できる場など
	商業 ・来街目的となる魅力的な飲食や物販など

◆ 新田町交差点周辺のまちづくり



第 5 回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会

日 時 令和6年3月14日(木)

場 所 長野市役所第二庁舎10階 講堂

協議内容 ・評価専門員会への報告案について 【資料1・2】

1 まちづくりの方針

長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、新田町交差点周辺エリアの都市の将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」と位置付けており、もんぜんぱら座の廃止後も引き続き、市民活動や交流の拠点として、その機能を維持していくことが必要です。

また、当該エリアは、中心市街地のほぼ中心に位置し、市民や観光客など多くの人々が行き交う場所であり、まちづくりにとって重要な場所になっております。

このため、子育て世帯や若者など、多くの人々にとって居心地の良いまちなかの居場所となり、幅広い世代の交流や学びの拠点となるよう、既存機能の拡充に加え、まちの魅力向上や賑わいの創出につながる新たな機能の導入について、官民が協働して取り組んでいくことが重要です。

2 新田町交差点周辺のまちづくり

(1) もんぜんぱら座の既存機能について

機能	機能の取り扱い	具体的な機能の例
市民活動 ・交流支援	新田町交差点周辺エリアに残した上で機能を拡充する	・若者の居場所や幅広い世代が交流できる場所 ・市民と観光客などが交流できる場所 ・音楽やダンスなどに使えるスタジオ
生涯学習支援		・幅広い世代に利用される生涯学習の場 ・学生などが利用しやすい学習コーナー
子育て支援		・幅広い年代の子育てについて相談できる場所 ・子育て中の親同士が交流できる場所 ・雨や雪の日でも子供が遊べる場所
就労支援 生活等支援 障害者支援 外国人支援 その他事務所	人々の生活や社会にとって欠かせない重要な機能であるが、まちの魅力向上や賑わいの創出に直接つながるものではないため、エリア外に移転するとともに、サービスの向上を図る	
商業	地域住民の利便性や周辺の商業環境等を踏まえ取り扱いを検討する	

(2) 新田町交差点周辺に新たに導入することが望ましい機能について

機能	具体的な機能の例
文化教育	・居心地の良い空間を備えた図書館機能やギャラリー機能など
観光・情報発信	・市民や観光客が地域の食や文化を体験できる場など
商業	・来街目的となる魅力的な飲食や物販など

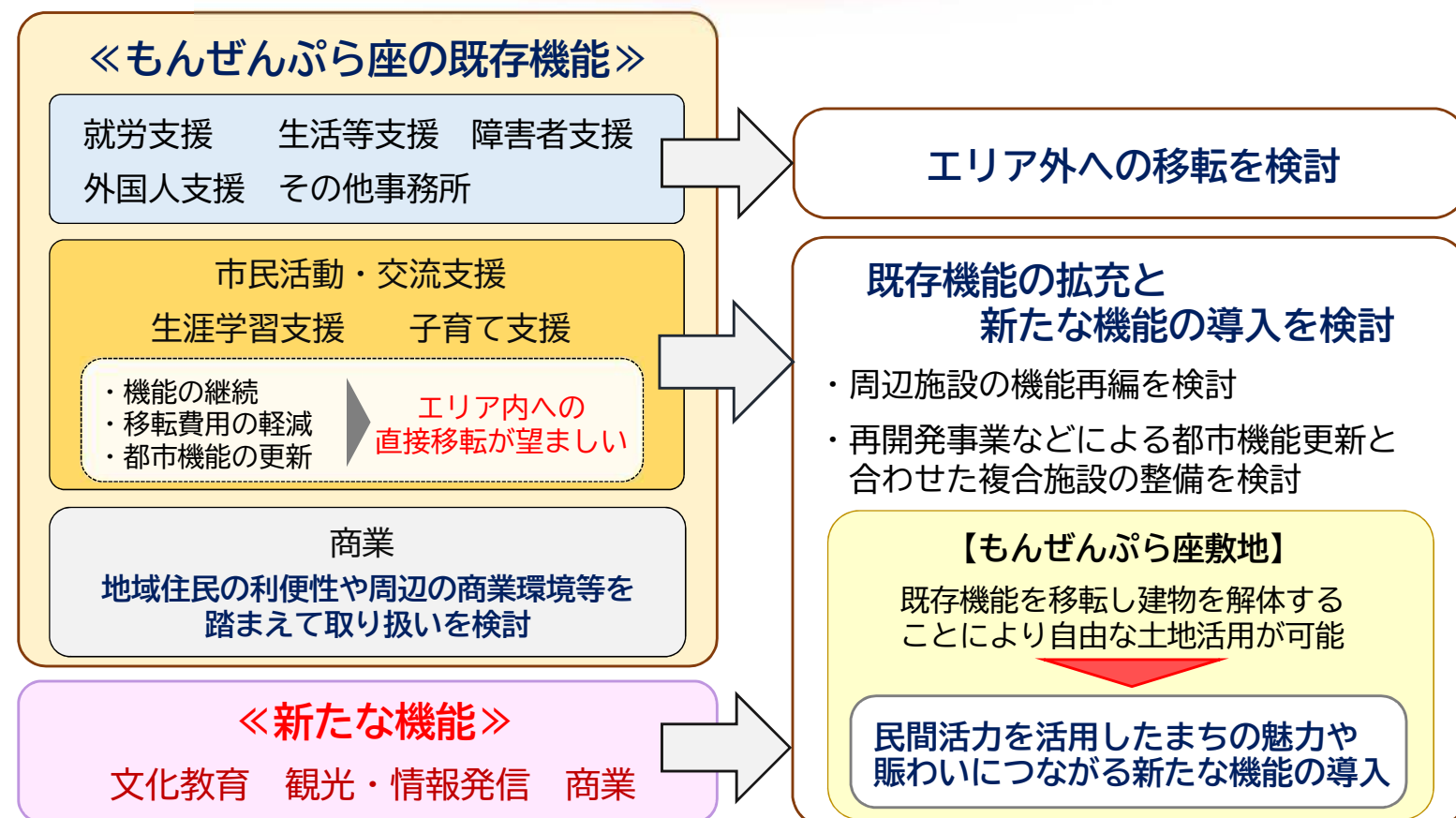
(3) もんぜんぱら座解体後の建物敷地の利活用について

- 既存機能を交差点周辺やエリア外に直接移転した上で、建物を解体し、自由な土地活用を図る
- 土地活用にあたっては、民間活力を活用し、まちの魅力や賑わいの創出につながる新たな機能を導入する
〈具体的な機能の例〉
・市民や観光客が地域の食や文化を体験できる場などの観光・情報発信機能
・来街目的となる魅力的な飲食や物販などの商業機能
- 新たな機能の導入にあたっては、PPPなどの官民協働によるまちづくりの手法を活用する

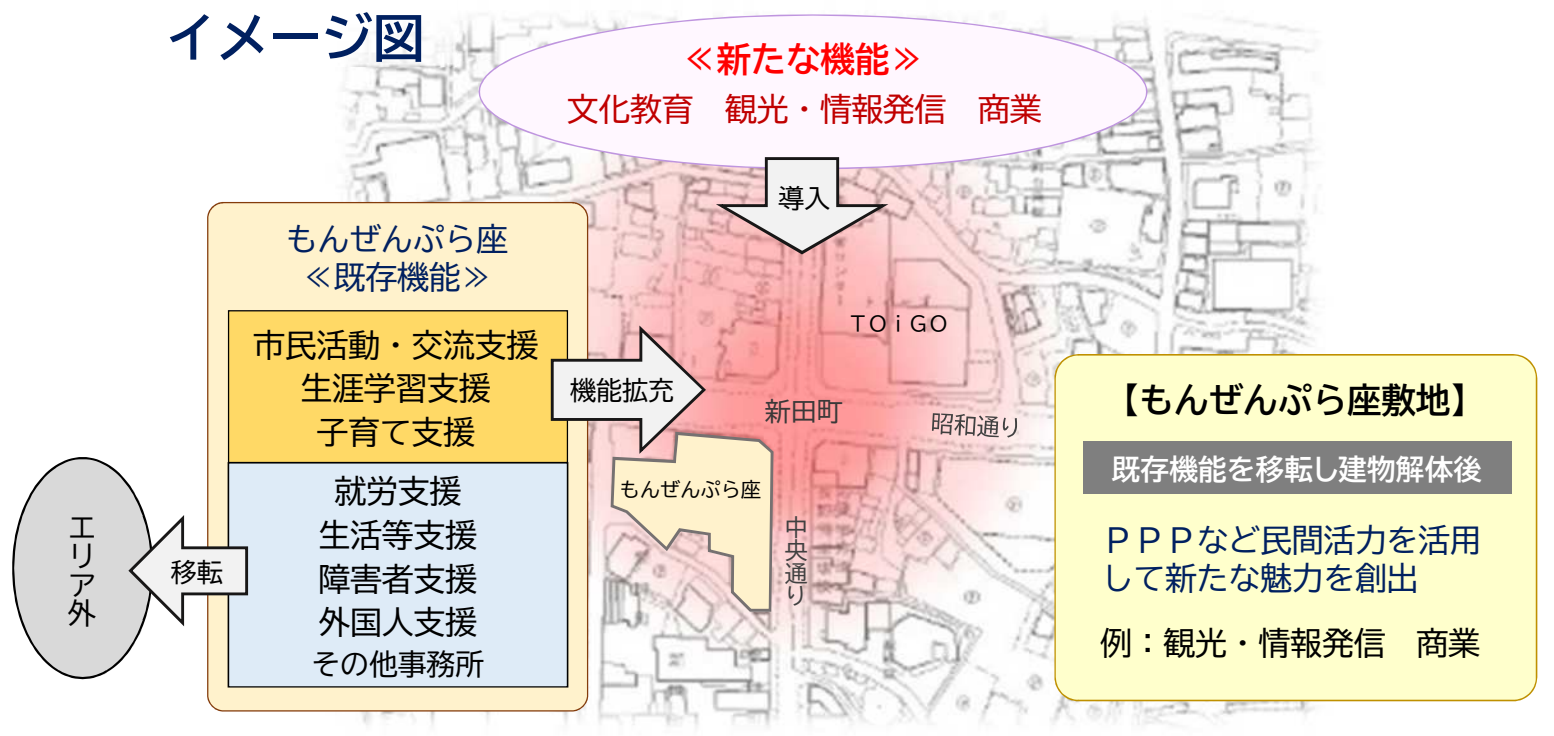
◆ 新田町交差点周辺のまちづくり

居心地の良いまちなかの居場所

<交流・学び・子育て>



イメージ図



もんぜんぷら座敷地の利活用の検討 (答申案)

令和6年3月

長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会

もんぜんぷら座敷地利活用検討部会

はじめに

新田町交差点周辺エリアは、長野駅と善光寺を結ぶ善光寺表参道のほぼ中間に位置し、また、もんぜんぷら座や生涯学習センターなどの公共・公益施設が立地しており、中心市街地における市民活動や交流、生涯学習の拠点となっております。

しかしながら、当該エリアでは、老朽化した建物や低未利用な土地が増加しており、都市機能の更新や、居住人口の減少に伴う地域活動の担い手の確保が課題となっております。

もんぜんぷら座は、多様な市民活動の機会と場を提供することなどを目的として平成15年に開館し、多くの市民にご利用いただいておりますが、昭和51年に建設された建物は施設の老朽化が著しく、平成29年度には、市から長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会(以下、委員会)に対し、もんぜんぷら座の在り方について諮問されました。委員会からは、「当面の課題」として、耐震性の確保を求め、併せて「長期的な課題」として、新田町交差点周辺の総合的なまちづくりについて検討を求める答申を行いました。

このうち「当面の課題」については、市が令和3年度に耐震補強工事を完了しており、工事完了から概ね10年後を目途に建物が解体される予定となっております。

また、「長期的な課題」については、令和4年2月に長野中央西地区市街地総合再生基本計画が策定され、重点プロジェクトの一つにもんぜんぷら座の敷地利活用推進が位置付けられました。

令和4年11月24日には、もんぜんぷら座解体後の建物敷地の利活用及び既存機能の取り扱い、新田町交差点周辺のまちづくりについて、市から諮問されました。これを受け、委員会では、もんぜんぷら座敷地利活用検討部会(以下、検討部会)を設置して検討を開始し、市民アンケートやもんぜんぷら座の利用者アンケートなど、検討に必要な調査を行うとともに、部会内にワーキンググループを設置して議論を深めてまいりました。

この答申をもとに、官民協働によるまちづくりの検討を進め、新田町交差点周辺エリアが、まちなかの居場所として多くの人が集い、交流する場所となることを期待します。

新田町交差点周辺のまちづくりへの提言

1 まちづくりの方針

長野中央西地区市街地総合再生基本計画では、新田町交差点周辺エリアの都市の将来像を「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」と位置付けており、もんぜんぷら座の廃止後も引き続き、市民活動や交流の拠点として、その機能を維持していく必要があります。

また、当該エリアは、中心市街地のほぼ中心に位置し、市民や観光客など多くの人々が行き交う場所であり、まちづくりにとって重要な場所になっております。

このため、子育て世帯や若者など、多くの人々にとって居心地の良いまちなかの居場所となり、幅広い世代の交流や学びの拠点となるよう、既存機能の拡充に加え、まちの魅力向上や賑わいの創出につながる新たな機能の導入について、官民が協働して取り組んでいくことが重要です。

以上を踏まえ、当該エリアのまちづくりのテーマを以下のとおり設定します。

居心地の良い まちなかの居場所

<交流・学び・子育て>

2 新田町交差点周辺のまちづくり

検討部会では、もんぜんぷら座敷地の利活用検討にあたり、既存機能の取り扱いや新田町交差点周辺に新たに導入することが望ましい機能など、新田町交差点周辺エリア一帯のまちづくりについて検討を行いました。

(1)もんぜんぷら座の既存機能について

もんぜんぷら座は、市民活動・交流支援、生涯学習支援、子育て支援、就労支援、生活等支援、障害者支援、外国人支援、商業、その他事務所機能など、多様な機能を有している。これら既存機能については、以下のとおり検討されたい。

- 市民活動・交流支援機能については、まちづくりの方針を踏まえ、今後も引き続き市民活動の拠点としていくため、当該エリアに残して拡充すること。

〈具体的な機能の例〉

- ・若者の居場所や幅広い世代が交流できる場所
- ・市民と観光客などが交流できる場所
- ・音楽やダンスなどに使えるスタジオ

- 生涯学習支援機能については、当該エリアに生涯学習センターが立地していることを踏まえ、若者から高齢者まで幅広い世代の学びの拠点となるよう、当該エリアに残して拡充すること。

〈具体的な機能の例〉

- ・幅広い世代に利用される生涯学習の場
- ・学生などが利用しやすい学習コーナー

- 子育て支援機能については、当該エリアはバス路線が集中しているなど、交通の利便性が高い場所であることから、移動手段の限られる子育て世代の利便性も考慮し、当該エリアに残して拡充すること。

〈具体的な機能の例〉

- ・幅広い年代の子育てについて相談できる場所
- ・子育て中の親同士が交流できる場所
- ・雨や雪の日でも子供が遊べる場所

- 就労支援、生活等支援、障害者支援、外国人支援、その他事務所機能については、人々の生活や社会にとって欠かせない重要な機能であるが、まちの魅力向上や賑わいの創出に直接つながるものではないため、エリア外に移転するとともに、サービスの向上を図ること。

○TOMATO 食品館などの商業機能については、地域の暮らしを支える機能のひとつであり、地域住民の利便性や周辺の商業環境等を踏まえ、取り扱いを検討すること。

なお、当該エリアに残して拡充することとした機能については、機能の継続、移転費用の軽減、交差点周辺の都市機能の更新などの観点から、エリア内に直接移転し、交差点周辺一帯のまちづくりにつなげていくことが望ましい。

(2)新田町交差点周辺に新たに導入することが望ましい機能について

当該エリアが、多くの人々にとって居心地の良いまちなかの居場所となるよう、まちの魅力向上や賑わいの創出につながる、以下の新たな機能の導入を検討されたい。

- ・居心地の良い空間を備えた図書館機能やギャラリー機能などの文化教育機能
- ・市民や観光客が地域の食や文化を体験できる場などの観光・情報発信機能
- ・来街目的となる魅力的な飲食や物販などの商業機能

また、新たな機能の導入にあたっては、当該エリアに残して拡充することとしたもんぜんぷら座の既存機能の移転と併せ、周辺施設の機能再編や再開発事業などによる都市機能更新と合わせた複合施設の整備を検討されたい。

(3)もんぜんぷら座解体後の建物敷地の活用について

もんぜんぷら座敷地の活用にあたっては、以下のとおり検討されたい。

○既存機能を交差点周辺やエリア外に直接移転した上で、建物を解体し、自由な土地活用を図ること。

○土地活用にあたっては、民間活力を活用し、まちの魅力や賑わいの創出につながる新たな機能を導入すること。

〈具体的な機能の例〉

- ・市民や観光客が地域の食や文化を体験できる場などの観光・情報発信機能
- ・来街目的となる魅力的な飲食や物販などの商業機能

○新たな機能の導入にあたっては、PPP などの官民協働によるまちづくりの手法を活用すること。